

平成 25 年 度

履 修 の 手 引

新 潟 大 学 理 学 部

目 次

1	入学にあたって-----	1
2	新潟大学理学部規程-----	2
3	新潟大学における授業科目の区分等に関する規則-----	13
4	履修の心得-----	15
5	教育職員免許状の取得について-----	19
6	学芸員の資格取得について-----	25
7	理学部の組織-----	26
8	大学院の組織-----	26
9	自然科学研究科の構成-----	27
10	教 授 会-----	28
11	事 務-----	28
12	理学部教職員一覧-----	29
13	理学部講義室等案内図-----	30
14	理学部周辺案内図-----	35

1. 入学にあたって

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新潟大学理学部は学ぶ意欲に満ちた皆さんの入学を心から歓迎いたします。新しい大学生活を前に期待に胸が膨らんでいることと思います。大学では、高等学校までとは異なりいろいろな意味で選択することが多くあります。学習計画もその一つです。自分の将来を見据えて目標を定め、その目標を達成できるよう自分で計画し、それを実行していくことになります。卒業するときには、すべての皆さんがこれからの人生を切り開いていくことができる能力を身につけているよう期待しています。

皆さんの入学した理学部は基礎科学を学ぶ学部です。基礎科学すなわち理学は数理やミクロな世界から宇宙に至るまでの自然の仕組みを解明する学問です。それは純粋な知的興味から真理を探究することに端を発します。しかし、理学はその世界だけに閉じているものではありません。得られた知識や理論を活かし、先端的な情報技術の開発、新しい機能を有する素材の創生、生命生存に適した環境の保全・創造というような広い応用分野に基礎分野から貢献することができます。したがって、理学を学び継承・発展させて行くことは、基礎科学の発展に寄与するとともに社会からの要請に応えることにもなります。

理学部では効果的に理学の学習ができるよう、系統的なカリキュラム体系を構築しています。まず入学直後に「大学学習法」という授業を履修し、4年間の勉学を展望します。そこでは生涯にわたるキャリア形成の重要性も学ぶこととなります。次に、自然系共通専門基礎科目群を履修して専門教育をうけるため準備を整えます。これと並行して、広い立場から総合的に判断する能力を身につけるための科目群を履修します。それらの基礎の上に立って専門科目を学びます。専門科目では、演習・実習・実験・セミナーなどによるきめ細かい対応により、学生一人一人の個性を伸ばす工夫がされています。知識は時代とともに変転してゆきますが、理学部での勉学から身につけた物事の根底にある本質を見抜く能力とそれをもとに論理的に思考できる能力は、目まぐるしく変化する時代にこそ対応できるものです。

この「履修の手引」は、皆さんが理学部において学習を進めるにあたっての必要事項をまとめたものです。この手引きは皆さんが卒業するまでのガイドとなりますので、よく読んで、内容を理解しておいて下さい。自己流に解釈すると思わぬ失敗となることもありますので、不明な点があれば、ぜひ身近にいる教員や学務係に相談して下さい。これから始まる大学生活において、自分自身の学習プログラムを作成して有意義な学生生活を送るために、「履修の手引」を有効に活用して下さい。

理学部長 工 藤 久 昭

2. 新潟大学理学部規程

〔平成 16 年 4 月 1 日〕
理 規 程 第 1 号

(趣旨)

第1条 新潟大学理学部(以下「本学部」という。)の教育課程の編成, 学生の履修方法, 卒業の要件等に関し必要な事項については, 新潟大学学則(平成16年学則第1号。以下「学則」という。)に定めるもののほか, この規程の定めるところによる。

(本学部の教育研究の目的)

第1条の2 本学部は, 数学と自然科学の基礎研究に基づき, 基礎的な専門知識と深い教養を備え, 課題探求能力と総合的判断力及び国際性, 社会性を身につけた人材を育成することを目的とする。

(学科)

第2条 本学部に, 次に掲げる学科を置く。

数学科

物理学科

化学科

生物学科

地質科学科

自然環境科学科

(教育課程)

第3条 本学部の教育課程は, 教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目により編成するものとする。

2 専門教育に関する授業科目は, 必修科目, 選択必修科目及び選択科目に分ける。

(履修方法)

第4条 学生は, 別表第1の定めるところにより, 教養教育に関する授業科目及び専門教育に関する授業科目について, 124単位以上を修得しなければならない。

2 別表第1に規定する教養教育に関する授業科目の科目区分等及びその科目区分等に基づく授業科目は, 新潟大学における授業科目の区分等に関する規則(平成16年規則第38号。以下「授業科目の区分等規則」という。)の定めるところによる。

3 外国人留学生等が, 授業科目の区分等規則別表に規定する科目区分の留学生基本科目に属する授業科目を履修し, その単位を修得したときは, 日本語の授業科目については4単位までを英語又は初修外国語に属する一つの外国語の授業科目の単位に, 日本事情の授業科目については4単位までを自然科学又は人文社会・教育科学に属する授業科目の単位に代えることができる。

4 別表第1に規定する各学科において履修すべき専門教育に関する授業科目及びその単位数は, 別表第2に定めるところによる。

(履修手続)

第5条 学生は, 学期の始めに履修しようとする授業科目を選択し, その授業科目の担当教員の承認を得なければならない。

(追試験)

第6条 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができない学生については, 本人の願い出により, 追試験を行うことができる。

2 前項の追試験の願い出, 評価等については, 別に定める。

(再試験)

第7条 教養教育に関する授業科目について, 卒年次学生で1科目(外国人留学生等である場合は2科目)不合格のため, 卒業できない学生については, 本人の願い出により, 再試験を行うことができる。

2 専門教育に関する授業科目については別に定める。

(教員の免許状)

第8条 本学部において, 取得することができる教員の免許状の種類及び免許教科は, 次の表に掲げるとおりとする。

学科	教員の免許状の種類（免許教科）
数学科	中学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（数学，情報）
物理学科 化学科 生物学科 地質科学科 自然環境科学科	中学校教諭一種免許状（理科） 高等学校教諭一種免許状（理科）

（卒業）

第9条 本学部に通算4年以上在学し、かつ、第4条第1項に規定する所定の単位を修得した学生の卒業の認定は、教授会の議を経て、学部長が行う。

（編入学及び再入学）

第10条 学則第62条第1項及び第2項並びに第63条の規定による編入学又は再入学を志願する者に対する選考については、別に定める。

2 前項の規定により入学を許可された者の既に修得した単位の取扱い及び在学期間の通算の認定については、教授会が行う。

（転部及び転入学）

第11条 学則第64条の規定による転部又は転入学を志願する者に対する選考については、別に定める。

2 前項の規定により転部又は転入学を許可された者の既に修得した単位の取扱い及び在学期間の通算の認定については、教授会が行う。

（転科）

第12条 本学部の学生で他の学科に転科を願い出る者に対する選考については、別に定める。

（雑則）

第13条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、教授会が別に定める。

附 則

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

2 平成16年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、現に在籍する学生が別表第2の3自然科学（1）各学科共通の表に規定する授業科目中、「科学・技術と社会」を、現に数学科に在籍する学生が別表第2の3自然科学（2）数学科の表に規定する授業科目中「数学英語」、「基礎ゼミⅠ」、「基礎ゼミⅡ」、「基礎ゼミⅢ」、「基礎ゼミⅣ」、「基礎ゼミⅤ」、「基礎ゼミⅥ」、「基礎ゼミⅦ」及び「基礎ゼミⅧ」を、現に地質科学科に在籍する学生が別表第2の3自然科学（6）地質科学科の表に規定する授業科目中「地質構造解析法」、「鉱物結晶学実験」、「地球化学分析法」、「水質化学分析法」、「海洋生物学実験」、「古無脊椎動物学実験」及び「応用地質学実習」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

3 平成16年度以前に入学した学生の再試験の取扱いについては、第7条の規定を適用する。

附 則

1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。

2 平成17年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。

2 平成18年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

2 平成19年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、施行の日に現に自然環境科学科に在籍する学生は、別表第2に規定する授業科目のうち「海洋学」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

附 則

1 この規程は、平成21年4月1日から施行する。

2 平成20年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。

- 2 平成 21 年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。

附 則

- 1 この規程は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 22 年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、施行の日に現に自然環境科学科に在籍する学生は、改正後の別表第 2 に規定する授業科目のうち「環境気象学」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

附 則

- 1 この規程は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 23 年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、施行の日に現に在籍する学生は、改正後の別表第 2 に規定する授業科目のうち「海外英語研修」及び「海外研修」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

附 則

- 1 この規程は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 24 年度以前に入学した学生の履修方法及び卒業要件については、なお、従前の例による。ただし、施行の日に現に化学科に在籍する学生は、改正後の別表第 2 に規定する授業科目のうち「溶液化学演習」を、自然環境科学科に在籍する学生は、同表に規定する授業科目のうち「物質科学 C」を履修し、卒業に必要な単位とすることができる。

別表第1 (第4条関係)

分類	科目区分	細区分	数学科			物理学科			化学科			生物学科			地質科学科			自然環境科学科		
			必修	選択 必修	選択 必修	必修	選択 必修	選択 必修	必修	選択 必修	選択 必修	必修	選択 必修	選択 必修	必修	選択 必修	選択 必修	必修	選択 必修	選択 必修
教養教育に関する授業科目	英語	英語	2			2			2			2			2			2		
		外国語ベータシックス																		
	初修外国語	ドイツ語																		
		フランス語																		
		ロシア語																		
		中国語	2	4	8	2	4	8	2	4	8	2	4	8	2	4	8	2	4	8
		朝鮮語																		
		スペイン語																		
		イタリア語																		
	健康・スポーツ	外国語スペシヤル																		
		体育講義	1						1			1			1			1		
	情報リテラシー	体育実技																		
		情報リテラシー																		
	新潟大学 個性化科目	情報処理概論																		
		地域入門																		
		地域研究																		
専門教育に関する授業科目	人文社会・ 教育科学	自由主題		8	17		8	17		8	17		8	17		4	17		12	17
		人文科学																		
	自然科学	教育人間科学	8																	
		法学																		
	医学	経済学																		
		理学																		
	歯学	工学																		
		農学																		
	小計	歯学																		
		小計	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
自由選択科目 (上記科目分類の中からいずれでも良い)	大学学習法	大学学習法	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2	2		2
		数学・統計学							2					2			2			2
	自然科学共通 専門基礎	物理学		16	16	4	12	16	2	4	16		16	16		8	16	2	2	20
		化学							4								4			4
	自然科学	生物学								2							4			4
		地学								2					6		2			2
	理学	理学	30	2	32	64	46	64		4	18	14	38 又は 16 34	64	53	11	24	60		
		小計	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82
	合計	合計	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
		合計	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124	124

注) 1. 教養教育に関する授業科目の科目区分「自然科学」のうち、細区分「理学」については、別表第2の3自然科学(1)各学科共通及び(2)～(7)のうち所属する学科の表に規定する授業科目を除く。

2. 専門教育に関する授業科目の科目区分「自然科学」細区分「理学」については、別表第2の3自然科学(1)各学科共通及び(2)～(7)のうち所属する学科の表に規定する授業科目から履修するものとする。

別表第2 (第4条関係)

専門科目及び単位数

1 大学学習法

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	スタディ・スキルズ (数学学習法)	2	必修科目	生命科学への招待 (生物学学習法)	2
	現代物理学への招待 (物理学学習法)	2		スタディ・スキルズ (地質科学学習法)	2
	スタディ・スキルズ (化学学習法)	2		環境科学スタディ・スキルズ	2

備考： 所属学科の科目1科目2単位必修。

2 自然系共通専門基礎

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修又は選択科目	数 学 基 礎 A	2	必修又は選択科目	化 学 基 礎 A	2
	数 学 基 礎 B	2		化 学 基 礎 B	2
	統 計 学 基 礎	2		化 学 基 礎 C	2
	物 理 学 入 門	2		生 物 学 基 礎 A	2
	物 理 学 基 礎 A I	2		生 物 学 基 礎 B	2
	物 理 学 基 礎 A II	2		地 学 基 礎 A	2
	物 理 学 基 礎 B I	2		地 学 基 礎 B	2
	物 理 学 基 礎 B II	2		地 学 基 礎 C	2
	物 理 学 基 礎 C I	2			
	物 理 学 基 礎 C II	2			
	物 理 学 基 礎 D	2			

備考： 別表1で学科毎に規定された単位数を修得する。

3 自然科学

(1) 各学科共通

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
選択必修科目又は	科 学 史	2	選択必修科目又は	インターンシップ特別実習a	1
	新 素 材 の 物 性	2		インターンシップ特別実習b	2
	科 学 ・ 技 術 と 社 会	2		グリーンケミストリー概説	1
	安 全 教 育	1		海 外 英 語 研 修	4
				海 外 研 修	1又は2 (※プログラム毎に別に定める。)

備考： 自然環境科学科において選択必修として履修できる科目は、「科学史」及び「科学・技術と社会」とする。

(2) 数学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	微 分 積 分 学 I	2	選択科目	実 解 析 学	4
	微 分 積 分 学 II	2		複 素 解 析 学 I	2
	微 分 積 分 学 III	4		複 素 解 析 学 II	2
	線 形 代 数 I	2		関 数 解 析 学	2
	線 形 代 数 II	2		代 数 系 I	2
	線 形 代 数 III	4		代 数 系 II	2
	数 学 講 究	8		幾 何 学 I	4
	数 理 基 礎 演 習 I	2		幾 何 学 II	2
	数 理 基 礎 演 習 II	2		ト ポ ロ ジ ー	2
	集 合 と 位 相 入 門	2		確 率 論	2
選択必修科目	数 理 解 析 特 別 講 義 I	2		情 報 管 理 学	2
	数 理 解 析 特 別 講 義 II	2		情 報 統 計 学	2
	構 造 数 理 特 別 講 義 I	2		情 報 産 業 論	2
	構 造 数 理 特 別 講 義 II	2		情 報 社 会 論	2
	情 報 数 理 特 別 講 義 I	2		計 算 シ ス テ ム 実 習	1
	情 報 数 理 特 別 講 義 II	2		デ ジ タ ル 表 現 論	2
選択科目	計 算 機 概 論	2		デ ジ タ ル 表 現 実 習	1
	計 算 機 概 論 実 習	1		ネ ッ ト ワ ー ク 実 習	1
	代 数 入 門	4		知 能 シ ス テ ム 論	2
	微 分 方 程 式 論	2		基 礎 ゼ ミ I	2
	位 相 空 間 論	2		基 礎 ゼ ミ II	2
	情 報 基 礎 数 学 I	2		基 礎 ゼ ミ III	2
	情 報 基 礎 数 学 II	2		基 礎 ゼ ミ IV	2
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 概 論	2		基 礎 ゼ ミ V	2
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習	2		基 礎 ゼ ミ VI	2
	計 算 シ ス テ ム	2		基 礎 ゼ ミ VII	2
	グ ラ フ と ネ ッ ト ワ ー ク 理 論	2		基 礎 ゼ ミ VIII	2
	情 報 計 画 シ ス テ ム I	2		数 値 解 析	2
	情 報 計 画 シ ス テ ム II	2		数 学 英 語	2

(3) 物理学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	基礎物理学演習Ⅰ	2	選択科目	現代物理学	2
	基礎物理学演習Ⅱ	2		物理学基礎ゼミ	2
	初等物理学実験	2		電気力学	2
	基礎ベクトル解析	2		流体物理学	2
	解析力学	2		エレクトロニクス	2
	電磁気学 a	2		計測学	2
	電磁気学 b	2		計算物理学	2
	熱力学	2		特殊相対論	2
	物理数学Ⅰ	2		一般相対論	2
	物理数学Ⅱ	2		量子力学Ⅲ	2
	物理数学Ⅲ	2		統計力学Ⅲ	2
	量子力学Ⅰ	2		原子核物理学Ⅰ	2
	量子力学Ⅱ	2		原子核物理学Ⅱ	2
	統計力学Ⅰ	2		物性物理学Ⅰ	2
	統計力学Ⅱ	2		物性物理学Ⅱ	2
	物理学実験 a	4		原子分子論	2
	物理学実験 b	4		素粒子物理学Ⅰ	2
	課題研究 a	4		素粒子物理学Ⅱ	2
	課題研究 b	4		宇宙物理学	2
選択必修科目	物理学演習	2		天文学特論	1
	電磁気学演習	2		生物物理学特論	1
	物理数学演習Ⅰ	2		原子核理論特論	1
	物理数学演習Ⅱ	2		原子核物理学特論	1
	量子力学演習Ⅰ	2		素粒子論特論	1
	量子力学演習Ⅱ	2		素粒子物理学特論	1
	統計力学演習Ⅰ	2		物性理論特論	1
	統計力学演習Ⅱ	2		物性物理学特論	1
	計算物理学演習	2		プラズマ物理学特論	1
科選択目	振動・波動	2		宇宙物理学特論	1
	量子力学序論	2			

(4) 化学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	分析化学 I	2	選択科目	分析化学 II	2
	無機化学 I	2		錯体化学	2
	無機化学 II	2		無機化学 III	2
	有機化学 I	2		放射化学	2
	有機化学 II	2		有機化学 III	2
	化学熱力学	2		構造有機化学	2
	化学統計力学 I	2		反応有機化学	2
	量子化学 I	2		量子化学 II	2
	生体分子化学 I	2		化学反応論	2
	化学実験 I	2		化学統計力学 II	2
	化学実験 II	2		生体分子化学 II	2
	分析化学実験	2		生体分子化学 III	2
	無機化学実験	2		基礎機器分析	2
	有機化学実験	2		有機機器分析	2
	物理化学実験	2		化学英語	2
	生化学実験	2		化学コロキウム	1
	課題研究	10		化学特論 I	1
選択必修科目	分析化学演習	4		化学特論 II	1
	無機化学演習	4		化学特論 III	1
	有機化学演習	4		化学特論 IV	1
	物理化学演習	4			
	量子化学演習	4			
	生化学演習	4			
	溶液化学演習	4			

(5) 生物学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	基礎植物学	2	選択科目	遺伝学	2
	基礎生物化学	2		系統動物学	2
	基礎細胞生物学	2		発生生物学Ⅰ	2
	基礎細胞遺伝学	2		発生生物学Ⅱ	2
	生物英語Ⅰ	2		植物生理学Ⅰ	2
	基礎生物学実習Ⅰ	2		植物生理学Ⅱ	2
	基礎生物学実習Ⅱ	2		植物生理学Ⅲ	2
選択必修科目	課題研究Ⅰ	8		生物英語Ⅱ	2
	課題研究Ⅱ	4		生物学基礎演習	2
	分子生物学実習	2		分子生物学演習	4
	生物化学実習	2		細胞生物学演習	4
	動物生理学実習	2		発生生物学演習	4
	植物分子生理学実習	2		植物生理学演習	4
	植物形態発生学実習	2		内分泌学演習	4
	動物形態発生学実習	2		生物化学演習	4
	臨海実習Ⅰ	2		生物学特論Ⅰ	1
	単位互換協定に基づき修得した他大学開設の臨海実習関係科目	当該科目について定められている単位数(2単位まで)		生物学特論Ⅱ	1
選択科目	分子生物学	2		生物学特論Ⅲ	1
	生命科学のための基礎化学	2		生物学特論Ⅳ	1
	生物化学Ⅰ	2		生物学特論Ⅴ	1
	生物化学Ⅱ	2		生物学特論Ⅵ	1
	細胞生物学Ⅰ	2		適応生物学	2
	細胞生物学Ⅱ	2		多様性生物学A	2
	生体情報学	2		機能形態学A	2
	動物生理学Ⅰ	2		進化生物学	2
	動物生理学Ⅱ	2		環境生物学野外実習A	1
	動物生理学Ⅲ	2			

- 備考：1. 選択必修科目の課題研究については課題研究Ⅰ又は課題研究Ⅱのいずれか1科目を履修し修得すること。この場合において、課題研究Ⅱを履修することができる者は、理学部長が別に定める。
2. 選択必修科目の実習科目については8単位以上を修得すること。

(6) 地質科学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	地質調査法基礎Ⅰ	1	選択科目	古生物学 B	2
	地質調査法基礎Ⅱ	1		地層学 B	2
	地質調査法Ⅰ	2		環境地質学 A	2
	地質調査法Ⅱ	2		環境地質学 B	2
	地質調査法実習Ⅰ	1		鉱物学 B	2
	地質調査法実習Ⅱ	1		地球物理学	2
	古生物学 A	2		土木地質学	1
	地層学 A	2		石油地質学	1
	地史学原理	2		地球科学特別講義Ⅰ	1
	地史学 A	2		地球科学特別講義Ⅱ	1
	地史学 B	2		地球科学特別講義Ⅲ	1
	テクニクス	2		地球科学特別講義Ⅳ	1
	構造地質学	2		資源・環境地質学	2
	岩石学 A	2		地球化学分析法	1
	岩石学 B	2		水質化学分析法	1
	岩石学実験Ⅰ	1		地質構造解析法	1
	岩石学実験Ⅱ	1		第四紀環境学	2
	鉱物学 A	2		東アジアの地質形成史	2
	鉱物結晶学実験	1		古生物学実験	1
	コミュニケーション実習	1		海洋地質学	2
	地学英語	1		固体地球化学	2
	セミナー	2		環境地質学実習	1
	野外実習基礎	1		応用地質学実習	1
	野外実習Ⅰ	1		海洋生物学実験	1
	野外実習Ⅱ	2		古無脊椎動物学実験	1
	野外実習Ⅲ	4			
	課題研究	10			

(7) 自然環境科学科

区分	科 目	単位	区分	科 目	単位
必修科目	自然環境科学概論 A	2	選択科目	適応生物学	2
	自然環境科学概論 B	2		環境分析化学	2
	自然環境科学概論 C	2		物質反応化学	2
	基礎地学実験	2		物質科学 A	2
	基礎物理学実験	2		物質科学 B	2
	基礎生物学実験	2		物質科学 C	2
	基礎化学実験	2		基礎量子力学	2
	課題研究	10		地球流体力学	2
選択必修科目	環境経済システム論 I	2		地球環境化学	2
	環境政策論	2		エネルギー物質科学	2
	自然環境科学実験 A	4		環境汚染論	2
	自然環境科学実験 B	4		自然科学実験法	2
	自然環境科学実験 C	4		古環境学	2
選択科目	地圏環境変動論	2		環境気象学	2
	地形学	2		自然環境科学特論 A	1
	気候システム論	2		自然環境科学特論 B	1
	高層大気科学	2		自然環境科学特論 C	1
	地形情報科学	2		自然環境科学特論 D	1
	生態学	2		基礎数理演習 I	2
	機能形態学 A	2		基礎数理演習 II	2
	機能形態学 B	2		環境生物学演習	2
	多様性生物学 A	2		環境地質学野外実習	1
	多様性生物学 B	2		環境生物学野外実習 A	1
	多様性生物学 C	2		環境生物学野外実習 B	1
	保全生物学	2		環境生物学野外実習 C	1
	進化生物学	2			

3. 新潟大学における授業科目の区分等に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、新潟大学学則（平成16年学則第1号）第48条の規定に基づき、新潟大学（以下「本学」という。）の学士課程教育における授業科目の区分、履修方法等に関し必要な事項を定めるものとする。

(授業科目の区分)

第2条 本学の授業科目は、別表のとおり区分する。

2 各年度において開設する授業科目は、教育・学生支援機構（以下「機構」という。）が公示する授業科目開設一覧の定めるところによる。

3 授業科目には、学生の体系的な履修に資するため、学問分野及び水準を示すコードを付すものとする。

4 前項のコードは、機構において定めるものとする。

(授業科目の開講方式等)

第3条 授業科目は、原則として半年学期制により開講する。

(授業科目の履修)

第4条 学生は、所属する学部が定める教育課程に基づき、機構が公示する授業科目を履修するものとする。

(授業科目の聴講の受付及び承認)

第5条 授業科目の聴講の受付及び承認は、その授業科目の担当教員が行う。

2 前項の聴講の受付及び承認は、各学期の授業開始後3週間以内に行うものとする。

(授業科目の修了の認定)

第6条 授業科目の修了の認定は、その授業科目の担当教員が行う。

2 授業科目の試験等において、不正行為を行った学生に対しては、その者が所属する学部の教授会の議を経て、学部長が必要な措置を講じるものとする。

(授業科目の評価)

第7条 授業科目の評価は、100点満点をもって評価し、60点以上の成績を得た学生を合格、59点以下の成績を得た学生を不合格とする。

2 前項の成績の評語は、90点以上の成績を「秀」、89点から80点までの成績を「優」、79点から70点までの成績を「良」、69点から60点までの成績を「可」及び59点以下の成績を「不可」とする。

3 前項の規定にかかわらず、授業科目の成績において点数をもって評価できない場合は、「認定」又は「合格」の評語をもって評価することができる。

(授業科目の追試験)

第8条 病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができない学生については、別に定めるところにより、追試験を行うことができる。

(授業科目の再試験)

第9条 授業科目の評価が不合格となった学生で、卒業又は進級できないものがある場合は、別に定めるところにより、再試験を行うことができる。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、授業科目の区分、履修方法等に関し必要な事項は、機構又は各学部が定める。

附 則

1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。

2 新潟大学全学共通科目の履修の基準に関する規則（平成16年規則第32号）は、廃止する。

3 平成16年度以前に入学し、現に在学している学生がこの規則により授業科目を履修した場合の全学共通科目又は教養科目（廃止前の新潟大学全学共通科目の履修の基準に関する規則に基づく全学共通科目又は教養科目をいう。）への読替えについては、機構において公示する。

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

別表(第2条関係)

授 業 科 目 区 分 表

科目区分	細区分
英語	英語
初修外国語	外国語ベーシック ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 朝鮮語 スペイン語 イタリア語 外国語スペシャル その他
健康・スポーツ	体育実技 体育講義
情報リテラシー	情報リテラシー 情報処理概論
新潟大学個性化科目	地域入門 地域研究 自由主題
留学生基本科目	日本語 日本事情
大学学習法	大学学習法
自然系共通専門基礎	数学・統計学 物理学 化学 生物学 地学
自然科学	理学 工学 農学
人文社会・教育科学	人文科学 教育人間科学 法学 経済学
医歯学	医学 歯学

4. 履修の心得

理学部では、多様化する学生に対応して教育と研究の充実を図っています。専門教育についての基本的考え方、視点として次の2点が挙げられます。

- ・ 学生の多様化に応えるための、4年一貫教育による体系的・段階的な学習。
- ・ 社会の要請に応える、幅広い学際的人材育成のための、各専門間の境界領域教育の充実。

理学部規程は、入学年度の規程が卒業するまで適用されますので、自分の適用規程を確認するときは入学年度の「履修の手引」を参照してください。

I 教養教育に関する授業科目

本学部教育課程は、「教養教育に関する授業科目」及び「専門教育に関する授業科目」により編成されています。「教養教育に関する授業科目」はその内容等に応じ、英語、初修外国語、健康・スポーツ、情報リテラシー、新潟大学個性化科目、人文社会・教育科学、自然科学及び医歯学に区分されており、幅広い教養を身に付けるための授業科目です。

なお、他学部の科目及び理学部の所属学科以外の専門科目を修得した場合は、理学部では教養教育に関する科目とみなされます。

履修にあたっては、各学科のガイダンスに従ってください。

II 専門教育に関する授業科目

「専門教育に関する授業科目」には、大学学習法、自然系共通専門基礎、自然科学（理学）に区分された科目があります。それぞれの区分について、必修科目、選択必修科目及び選択科目があり、各学科が指定した単位を修得しなければなりません。

各学科の授業科目及び単位数は、理学部規程別表第2及び講義概要の各年度入学者向け開講科目表を参照してください。

○ 大学学習法

大学教育への導入科目です。

○ 自然系共通専門基礎

自然科学系学部の学生が専門を学ぶ上で基礎となる授業科目です。

○ 各学科共通科目（総合科目）

一定の個別の専門知識を学んだ学生に対して、科学の持つ多面的な側面から自分の専門を見直し、かつ、総合的判断力を身に付けるための科目です。学科の枠を超えて全学科の協力を得て設けられています。所属学科の科目に偏らず広く履修することが望まれます。

III 理学部規程別表第1（第4条関係）及び別表第2の履修方法

【教養教育に関する授業科目】 25単位を修得してください。

「英語」、「初修外国語」、「健康・スポーツ」、「情報リテラシー」、「新潟大学個性化科目」、「人文社会・教育科学」、「自然科学」及び「医歯学」区分の科目は、「新潟大学授業科目開設一覧」の科目の中から、別表第1の区分毎に規定の単位数を修得してください。

ただし、「自然科学」のうち、細区分「理学」に属する科目は、別表第2の3自然科学の各学科共通科目及び所属学科に記載の科目を除きます。

また、必修の体育実技は、「健康スポーツ科学実習Ⅰ」の履修を原則とします。

【専門教育に関する授業科目】 82単位を修得してください。

理学部規程別表第2から以下に留意して修得してください。

1. 大学学習法 2単位必修

所属学科が指定する科目を修得してください。

2. 自然系共通専門基礎

別表第1で所属学科が各細区分毎に規定する単位数を修得してください。

主聴講学部・学科が指定されている科目がありますので、履修に際しては注意してください。

3. 自然科学（理学）

別表第1で各学科が規定する科目・単位数を別表第2を参照の上、修得してください。

【自由選択科目】

17 単位を「教養教育に関する授業科目」又は「専門教育に関する授業科目」から修得してください。

○ 専門教育に関する授業科目の学科別留意事項

〔物理学科〕

自然系共通専門基礎科目

物理学基礎 A I 及び物理学基礎 A II が必修です。

なお、物理学基礎 B I，B II，C I，C II 及び物理学入門の単位を修得しても、卒業要件単位とはなりません。

〔化学科〕

自然系共通専門基礎科目

化学基礎 A 及び化学基礎 B が必修です。なお、化学基礎 C の単位を修得しても、卒業要件単位とはなりません。

〔地質科学科〕

自然系共通専門基礎科目

「数学・統計学」の選択必修科目は、数学基礎 A，数学基礎 B 又は統計学基礎から 2 単位の修得が必要です。

コースへの所属

「地質学専修コース」と「地質エンジニアリングコース」があり、3 年次進級時にコース分けを行います。したがって、本学科の 3 年次以上の学生は、必ずどちらかのコースに所属することになります。それぞれのコースの内容、履修科目等については、別途配布する「地質科学科 教育プログラムの案内」で確認してください。

〔自然環境科学科〕

自然系共通専門基礎科目

細区分毎の必修科目は、数学基礎 A，物理学基礎 D，化学基礎 A，化学基礎 B，生物学基礎 A，生物学基礎 B，地学基礎 A の 7 科目（14 単位）です。

また、「数学」の選択必修科目は、数学基礎 B または統計学基礎から 1 科目（2 単位），「物理学」の選択必修科目は、物理学基礎 A I または物理学基礎 B I から 1 科目（2 単位），「地学」の選択必修科目は、地学基礎 B または地学基礎 C から 1 科目（2 単位）の修得が必要です。

【注意】

1. 「教職に関する科目」は卒業要件単位（124 単位）とはなりません。ただし、数学科では「数学科教育法Ⅰ」，「数学科教育法Ⅱ」，「数学科教育法Ⅲ」，「数学科教育法Ⅳ」，「情報科教育法Ⅰ」及び「情報科教育法Ⅱ」を、卒業要件単位（専門教育に関する授業科目）に含めることができます。
2. 教育職員免許状取得のための実験科目の単位は、卒業要件単位に含みません。
3. 学芸員資格取得のための科目は、卒業要件単位に含みません。
4. 社会教育主事資格取得のための科目は、卒業要件単位に含みません。
5. 副専攻入門科目及び国際センター開設科目は、卒業要件単位に含みません。
6. 経済学部夜間主コース学生向け科目は卒業要件単位に含みません。

IV アドバイザー制度

理学部では、アドバイザー制度を導入し、きめ細かい履修指導を行っています。授業の履修方法などで分からないことがあれば、各学科・学年ごとのアドバイザーの先生方に相談できます。

V 履修申請

原則として「学務情報システム」（Web ブラウザ）から行います。

ただし、集中講義等で「聴講票」により履修申請を行う科目がありますので、その都度通知します。

VI 履修確認

原則として「学務情報システム」（Web ブラウザ）から行います。学期ごとに履修科目確認期間があり

ます。後日思わぬ不利益を被ることのないように、必ず確認してください。
確認期間については、学務情報システム画面若しくは掲示板で確認してください。

VII 進級

各年次へ進級できる要件は、各学科で個別に定めています。

VIII 試験時における注意事項

受験に当たっては、不正行為のないよう厳正な態度で臨んでください。

不正行為を行った学生に対しては、当該科目の受験を無効とするほか、当該年度の全科目の単位不認定、若しくは本学学則第 73 条による懲戒、又はそれらを併せた処置を行うことがあります。

IX 成績と GPA

履修登録した授業科目の成績は、その科目毎に下記の評価基準に基づいた点数で評価します。

また、併せて履修登録した全授業科目について、1 単位当たりの成績の平均値 (GPA) を算出します。

GPA は学期毎に算出し、入学後の全ての学期において履修登録した授業科目について、累積 GPA を算出します。

累積 GPA と全履修単位数は、学生の勉学に関する“質の高さ”と“意欲の旺盛さ”を端的に表していると見ることができます。

GPA は大学が責任をもって学生に教育を行い、社会に送り出すために、最低限の質の保証として導入されたもので、授業の履修については「厳格な成績評価及び修了認定」をするため、学生の皆さんには自己責任や自己管理についての注意が求められます。

【注意】

取消手続きを行わなかった授業科目、試験を受けなかった授業科目があると、累積 GPA が下がることになります。

○成績評価基準

100～90 点(秀)	授業科目の目標を超えている。
89～80 点(優)	授業科目の目標に十分達している。
79～70 点(良)	授業科目の目標から考えると一定の水準に達している。
69～60 点(可)	授業科目の目標から考えると最低限を満たしている。
59 点以下 (不可)	授業科目の目標に達していない。

○GPA 計算

100 点満点で評価された各授業科目のグレード・ポイント (GP) は、次の計算式で算出されます。

$$GP = \frac{\text{評価} - 50}{10}$$

ただし、59 点以下の場合は 0 となります。

GPA は、次の計算式で算出されます。

$$GPA = \frac{\{\text{履修登録した各授業科目の単位数} \times GP\} \text{の総和}}{\text{履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$

累積 GPA は、次の計算式で算出されます。

$$\text{累積 GPA} = \frac{\{\text{入学時以降に評価を得た各授業科目の単位数} \times GP\} \text{の総和}}{\text{入学時以降に履修登録した各授業科目の単位数の総和}}$$

<例> 85 点の場合、 $GP = (85 - 50) / 10 = 3.5$ となります。

X 席次

各学科における学年毎の席次は、取得単位数及び累積 GPA 等により総合的に決定するものとし、その基準は、学科毎に定めています。

XI 重複履修について

単位を修得した授業科目の成績に不満がある場合、同一科目を再度履修することができます（再履修）。ただし、重複して単位を取得しても、卒業要件単位には1科目分の単位しか認められません。

※ 再履修できない科目（実験・実習科目他）もありますので、履修申請の際には注意してください。

XII 保護者への成績通知

本学部では、学生の学修成績を保護者に通知しています。

送付に際し、特殊事情や送付先の変更を希望する等の場合は、各学科学務委員に申し出てください。

XIII 身上異動

改氏名、保護者の変更、保護者の住所変更等の身上異動があった場合は、速やかに理学部長に届け出なければなりません。届出用紙は、理学部学務係にあります。

XIV 学生連絡先

緊急に連絡を要する場合、大学から連絡先（住所）へ電話等を行うことがあります。

入学時に連絡先届を提出するとともに「学務情報システム」にも現住所及び電話番号を必ず登録してください。連絡先に変更があった場合は、理学部学務係に届け出るとともに登録内容の更新を行ってください。

※届出がない場合には、不利益を被ることがあります。

XV その他

1 転部・転科

転部・転科を希望する場合は、所属学科長及び所属学科学務委員に申し出てください。

各申請用紙は、理学部学務係にあります。

（理学部への転部及び転科志願書類の受付期間は12月1日から12月10日（平日のみ）です。）

2 休学・退学

保護者と相談の上、所属学科学務委員に申し出てください。

各申請用紙は、理学部学務係にあります。

3 長期欠席

病気等で欠席しなければならない期間が2週間を超える場合は、長期欠席届（病気の場合は医師の診断書を添付）を提出してください。届出用紙は、理学部学務係にあります。

4 海外旅行届

海外旅行を行う場合は、学務係に「海外旅行計画書」（理学部学務係にあります）を提出してください。

5 掲示板

学生への連絡事項は、すべて掲示により周知しますので、1日1回は学務係掲示板及び所属学科掲示板を見てください。

掲示を見なかったことによる不利益は自分で被らなければなりません。

また、学務情報システムの「連絡通知」も1日1回は確認し、携帯電話からメールシステムが利用できますので活用してください。

5. 教育職員免許状の取得について

理学部において取得することができる免許状の種類及び免許教科は、次のとおりです。

区分	免許状の種類	免許教科
理学部	中学校教諭一種免許状	数学，理科
	高等学校教諭一種免許状	数学，情報 理科

※新潟大学大学院自然科学研究科博士前期課程に進学すると，専修免許状の取得が可能です。

教育職員免許状取得に必要な資格

免許状の種類	基礎資格	大学において修得することを 必要とする科目の最低修得単位数		
		教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に 関する科目
中学校教諭一種免許状	学士の学位を有 すること	20	31※	8
高等学校教諭一種免許状		20	23※	16

※ 上記の表にかかわらず，本学のカリキュラム上，教員免許取得のためには 24 ページに示す「教職に関する科目」の単位の履修が必要ですので注意してください。
(中学校教諭免許状は 32 単位，高校教諭免許状は 24 単位が必要です。)

免許状取得には，「教科に関する科目」，「教職に関する科目」の他に「一般教育科目」（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目）の単位の修得が必要です。

中学校教諭免許状取得には，更に「介護等の体験」が必要です。

一般教育科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目）

科目	単 位 数	開設授業科目	単位数		履修方法
			必 修	選 択	
日本国憲法	2	日本国憲法 A 日本国憲法 B 日本国憲法 C 日本国憲法 D		2 2 2 2	※左記授業科目のうちから いずれか 2 単位修得のこと
体育	2	健康スポーツ科学実習 I ○ 健康スポーツ科学講義	1	2	
外国語コミュニケーション	2	アカデミック英語（リーディング） アカデミック英語（リスニング） アカデミック英語（ライティング） 基礎英語 理工英語読解		1 1 1 1 1	※左記授業科目のうちから いずれか 2 単位修得のこと
情報機器の操作	2	情報処理概論 A* 情報処理概論 C* 情報機器操作入門 UNIX リテラシー演習		2 2 2 2	※左記授業科目のうちから いずれか 2 単位修得のこと

○印：免許状取得上の必修科目を示す。

*印：情報処理概論 A については，A I または A II のどちらかを履修してください。
情報処理概論 C については，開設されない年度があります。

教科に関する科目、教科又は教職に関する科目（免許法施行規則に定める科目）

	中学校一種免許状		高等学校一種免許状	
	教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	教科に関する科目	教科又は教職に関する科目
数 学	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計8単位以上	代数学 幾何学 解析学 「確率論，統計学」 コンピュータ ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計16単位以上
情 報			情報社会及び情報倫理（実習を含む。） コンピュータ及び情報処理（実習を含む。） 情報システム（実習を含む。） 情報通信ネットワーク（実習を含む。） マルチメディア表現及び技術（実習を含む。） 情報と職業 ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計16単位以上
理 科	物理学 物理学実験（コンピュータ活用を含む） 化学 化学実験（コンピュータ活用を含む） 生物学 生物学実験（コンピュータ活用を含む） 地学 地学実験（コンピュータ活用を含む） ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計8単位以上	物理学 化学 生物学 地学 ◎上記の科目についてそれぞれ1単位以上 物理学実験（コンピュータ活用を含む） 化学実験（コンピュータ活用を含む） 生物学実験（コンピュータ活用を含む） 地学実験（コンピュータ活用を含む） ◎上記4実験科目のうちから1実験科目1単位以上 計20単位	最低履修単位を超えて修得した 「教科に関する科目」 又は 「教職に関する科目」 計16単位以上

教科に関する科目

数学科（数学）		数学科（情報）	
免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選
代数学		情報社会及び情報倫理（実習を含む）	
線形代数Ⅰ	2	情報社会論	2
数理基礎演習Ⅱ	2		
代数入門	4	コンピュータ及び情報処理（実習を含む）	
代数系Ⅰ	2	プログラミング概論	2
代数系Ⅱ	2	プログラミング演習	2
		知能システム論	2
幾何学		計算機概論	2
線形代数Ⅱ	2	計算機概論実習	1
線形代数Ⅲ	4	情報統計学	2
幾何学Ⅰ	4	計算物理学（物理学科）	2
幾何学Ⅱ	2	計算物理学演習（物理学科）	2
トポロジー	2		
解析学		情報システム（実習を含む）	
微分積分学Ⅰ	2	計算システム	2
微分積分学Ⅱ	2	計算システム実習	1
微分積分学Ⅲ	4	情報計画システムⅠ	2
集合と位相入門	2	情報計画システムⅡ	2
位相空間論	2	数理基礎演習Ⅰ	2
複素解析学Ⅰ	2	情報通信ネットワーク（実習を含む）	
複素解析学Ⅱ	2	情報基礎数学Ⅰ	2
関数解析学	2	グラフとネットワーク理論	2
		ネットワーク実習	1
確率論、統計学		マルチメディア表現及び技術（実習を含む）	
実解析学	4	情報基礎数学Ⅱ	2
確率論	2	デジタル表現論	2
統計学基礎	2	デジタル表現実習	1
コンピュータ		情報と職業	
微分方程式論	2	情報産業論	2
数値解析	2	情報管理学	2

理物理学科（理科）		化学学科（理科）		生物学科（理科）	
免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選
物理学		物理学		物理学	
物理学基礎 A I	2	物理学入門	2	物理学入門	2
物理学基礎 A II	2	物理学基礎 A I	2	物理学基礎 A I	2
物理学基礎 D	2	物理学基礎 A II	2	物理学基礎 A II	2
基礎ベクトル解析	2	物理学基礎 B I	2	物理学基礎 B I	2
解析力学	2	物理学基礎 B II	2	物理学基礎 B II	2
電磁気学 a	2	物理学基礎 D	2	物理学基礎 D	2
電磁気学 b	2				
熱力学	2	物理学実験（コンピュータ活用含む）		物理学実験（コンピュータ活用含む）	
物理数学 I	2	○ 物理化学実験	2	○ 物理学実験	1
物理数学 II	2				
物理数学 III	2	化学		化学	
物理数学演習 I	2	化学基礎 A	2	化学基礎 A	2
量子力学 I	2	化学基礎 B	2	化学基礎 B	2
量子力学 II	2	化学基礎 C	2	化学基礎 C	2
量子力学 III	2	分析化学 I	2	基礎生物化学	2
統計学 I	2	分析化学 II	2	生命科学のための基礎化学	2
統計学 II	2	無機化学 I	2	生物化学 I	2
統計学 III	2	無機化学 II	2		
物理学演習	2	錯体化学	2	化学実験（コンピュータ活用含む）	
物理数学演習 II	2	無機化学 III	2	○ 生物化学実習	2
電磁気学演習	2	放射化学	2		
振動・波動	2	有機化学 I	2	生物学	
電気力学	2	有機化学 II	2	生物学基礎 A	2
流体物理学	2	有機化学 III	2	生物学基礎 B	2
エレクトロニクス	2	構造有機化学	2	分子生物学	2
計測学	2	反応有機化学	2	生物化学 II	2
現代物理学	2	化学熱力学	2	細胞生物学 I	2
特殊相対論	2	化学統計学 I	2	細胞生物学 II	2
一般相対論	2	量子化学 I	2	生体情報学	2
原子核物理学 I	2	量子化学 II	2	動物生理学 I	2
原子核物理学 II	2	化学反応論	2	動物生理学 II	2
物性物理学 I	2	化学統計学 II	2	動物生理学 III	2
物性物理学 II	2	生体分子化学 III	2	遺伝学	2
物理学基礎ゼミ	2	有機機器分析	2	系統動物学	2
素粒子物理学 I	2	基礎機器分析	2	発生生物学 I	2
素粒子物理学 II	2			発生生物学 II	2
宇宙物理学	2	化学実験（コンピュータ活用含む）		植物生理学 I	2
量子力学序論	2	化学実験 I	2	植物生理学 II	2
基礎物理学演習 I	2	化学実験 II	2	植物生理学 III	2
基礎物理学演習 II	2	無機化学実験	2	基礎細胞生物学	2
量子力学演習 I	2	有機化学実験	2	基礎細胞遺伝学	2
統計力学演習 I	2			生物学基礎演習	2
量子力学演習 II	2	生物学			
統計力学演習 II	2	生物学基礎 A	2	生物学実験（コンピュータ活用含む）	
		生物学基礎 B	2	分子生物学実習	2
物理学実験（コンピュータ活用含む）		生体分子化学 I	2	動物生理学実習	2
物理学実験 a	4	生体分子化学 II	2	植物分子生理学実習	2
物理学実験 b	4			動物形態発生学実習	2
		生物学実験（コンピュータ活用含む）		植物形態発生学実習	2
化学		○ 生化学実験	2	基礎生物科学実習 I	2
化学基礎 A	2			基礎生物科学実習 II	2
化学基礎 B	2	地学		臨海実習 I	2
化学基礎 C	2	地学基礎 A	2		
		地学基礎 B	2	地学	
化学実験（コンピュータ活用含む）		地学基礎 C	2	地学基礎 A	2
○ 化学実験	1			地学基礎 B	2
		地学実験（コンピュータ活用含む）		地学基礎 C	2
生物学		○ 分析化学実験	2		
生物学基礎 A	2			地学実験（コンピュータ活用含む）	
生物学基礎 B	2			○ 地学実験	1
生物学実験（コンピュータ活用含む）					
○ 生物学実習	1				
地学					
地学基礎 A	2				
地学基礎 B	2				
地学基礎 C	2				
地学実験（コンピュータ活用含む）					
○ 地学実験	1				

○：中学校免許必修

○：中学校免許必修

○：中学校免許必修

地質科学科（理科）

自然環境科学科（理科）

理科教員免状取得用実験科目

免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選	免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	単位 必 選
物理学		物理学	
物理学入門	2	物理学入門	2
物理学基礎AⅠ	2	物理学基礎AⅠ	2
物理学基礎AⅡ	2	物理学基礎AⅡ	2
物理学基礎BⅠ	2	物理学基礎BⅠ	2
物理学基礎BⅡ	2	物理学基礎BⅡ	2
物理学基礎D	2	物理学基礎D	2
物理学実験（コンピュータ活用含む）		高層大気科学	2
鉱物結晶学実験	1	基礎量子力学	2
地質構造解析法	1	地球流体力学	2
化学		物質科学B	2
化学基礎A	2	基礎数理解習Ⅰ	2
化学基礎B	2	基礎数理解習Ⅱ	2
化学基礎C	2	物理学実験（コンピュータ活用含む）	
化学実験（コンピュータ活用含む）		基礎物理学実験	2
地球化学分析法	1	自然環境科学実験C	4
水質化学分析法	1	化学	
生物学		化学基礎A	2
生物学基礎A	2	化学基礎B	2
生物学基礎B	2	化学基礎C	2
古生物学A	2	環境分析化学	2
古生物学B	2	地球環境化学	2
生物学実験（コンピュータ活用含む）		物質反応化学	2
海洋生物学実験	1	エネルギー物質科学	2
古無脊椎動物学実験	1	物質科学A	2
古生物学実験	1	物質科学C	2
地学		化学実験（コンピュータ活用含む）	
地学基礎A	2	基礎化学実験	2
地学基礎B	2	生物学	
地学基礎C	2	生物学基礎A	2
地質調査法基礎Ⅰ	1	生物学基礎B	2
地質調査法基礎Ⅱ	1	生態学	2
地質調査法Ⅰ	2	環境生物学演習	2
地質調査法Ⅱ	2	保全生物学	2
地質調査法実習Ⅰ	1	多様性生物学A	2
地質調査法実習Ⅱ	1	多様性生物学B	2
地層学A	2	多様性生物学C	2
地層学B	2	進化生物学	2
地史学A	2	機能形態学A	2
地史学B	2	機能形態学B	2
テクトニクス	2	適応生物学	2
構造地質学	2	生物学実験（コンピュータ活用含む）	
岩石学A	2	基礎生物学実験	2
岩石学B	2	自然環境科学実験B	4
鉱物学A	2	環境生物学野外実習A	1
鉱物学B	2	環境生物学野外実習B	1
環境地質学A	2	環境生物学野外実習C	1
環境地質学B	2	地学	
資源・環境地質学	2	地学基礎A	2
第四紀環境学	2	地学基礎B	2
東アジアの地質形成史	2	地学基礎C	2
海洋地質学	2	地形学	2
固体地球化学	2	地圏環境変動論	2
地学実験（コンピュータ活用含む）		気候システム論	2
岩石学実験Ⅰ	1	地形情報科学	2
岩石学実験Ⅱ	1	環境気象学	2
野外実習基礎	1	地学実験（コンピュータ活用含む）	
野外実習Ⅰ	1	基礎地学実験	2
野外実習Ⅱ	2	自然環境科学実験A	4
野外実習Ⅲ	4	環境地質学野外実習	1
環境地質学実習	1		

免許法施行規則に定める科目区分 開設授業科目	備考
物理学実験（コンピュータ活用含む）	
物理学実験	生物学科向け
化学実験（コンピュータ活用含む）	
化学実験	物理学科向け
生物学実験（コンピュータ活用含む）	
生物学実習	物理学科向け
地学実験（コンピュータ活用含む）	
地学実験	物理学科向け 生物学科向け

【注意事項】

1. 免許取得用実験科目の単位を修得しても、卒業要件単位にはなりません。
2. 上記実験科目は、理学部開設科目（Sコード）から選択してください。
Gコードで開設されている実験科目は、教員免許取得用ではありません。
3. 上記実験科目は、隔年開講になりますので、講義概要を参照してください。

教職に関する科目

	授業科目名	単位数		学年指定
		中一	高一	
教育の意義等に関する科目	教職入門	2	2	1 年
教育の基礎理論に関する科目	教育学概論	2	2	2～4 年
	教育心理学	2	2	1 年
	教育の制度と経営	2	2	2～4 年
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程総論	2	2	2～4 年
	教科教育法	8	4	掲示にて通知
	道徳指導法	2		2～4 年
	教育方法・技術 B	1	1	2 年
生徒指導，教育相談及び進路指導に関する科目	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ	2	2	2・3 年
	生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ	2	2	2・3 年
教育実習	中等教育実習	5	3	4 年
教職実践演習	教職実践演習（中等）	2	2	4 年
計		32	24	

教育実習

	中学校一種	高等学校一種	備 考
単位数	5 単位	3 単位	
事前・事後指導	事前指導 事後指導		4 月～5 月予定 11 月予定
実習期間	4 週間 中学校実習 高等学校実習	2 週間 高等学校実習	出身学校等
受講資格	4 年次学生		
受講要件	3 年次までに，以下の科目の単位を取得済みであること。 教職入門 教育心理学 教科教育法 生徒指導・教育相談・進路指導Ⅰ 生徒指導・教育相談・進路指導Ⅱ		
受講手続	3 年次に，学生本人が実習校（出身学校等）へ依頼する		

◎実習教科と免許教科は同じことが原則となります。

◎教科教育法については，3 年次までに 1 科目で単位を修得していれば，教育実習を受講できます。

なお，「理科教育法Ⅳ」は中学校免許取得希望者対象の講義です。高等学校免許（理科）のみ取得しようとする場合は，「理科教育法Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ」から 2 科目を選択して 4 単位としてください。

3 年次 4 月にガイダンスを行いますので，教育職員免許状取得希望者は，必ず出席してください。

○介護等の体験

実施方法や体験施設等についてのガイダンスを 2 年次の秋（11 月頃）に行います。

また，事前指導を 3 年次の春（4 月頃）に行いますので，中学校教諭免許状取得希望者は必ず出席してください。

※ 教育職員免許状に関するガイダンス日程や，免許状取得について変更が生じた場合は，掲示にて通知します。

6. 学芸員の資格取得について

1 学芸員の職務

学芸員とは、博物館法に基づく博物館の専門職員であって、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究、その他これに関連する事業について専門的事項をつかさどる者をいいます。

2 学芸員の資格

学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得した者は、学芸員となる資格があります。

3 博物館に関する科目及び単位数

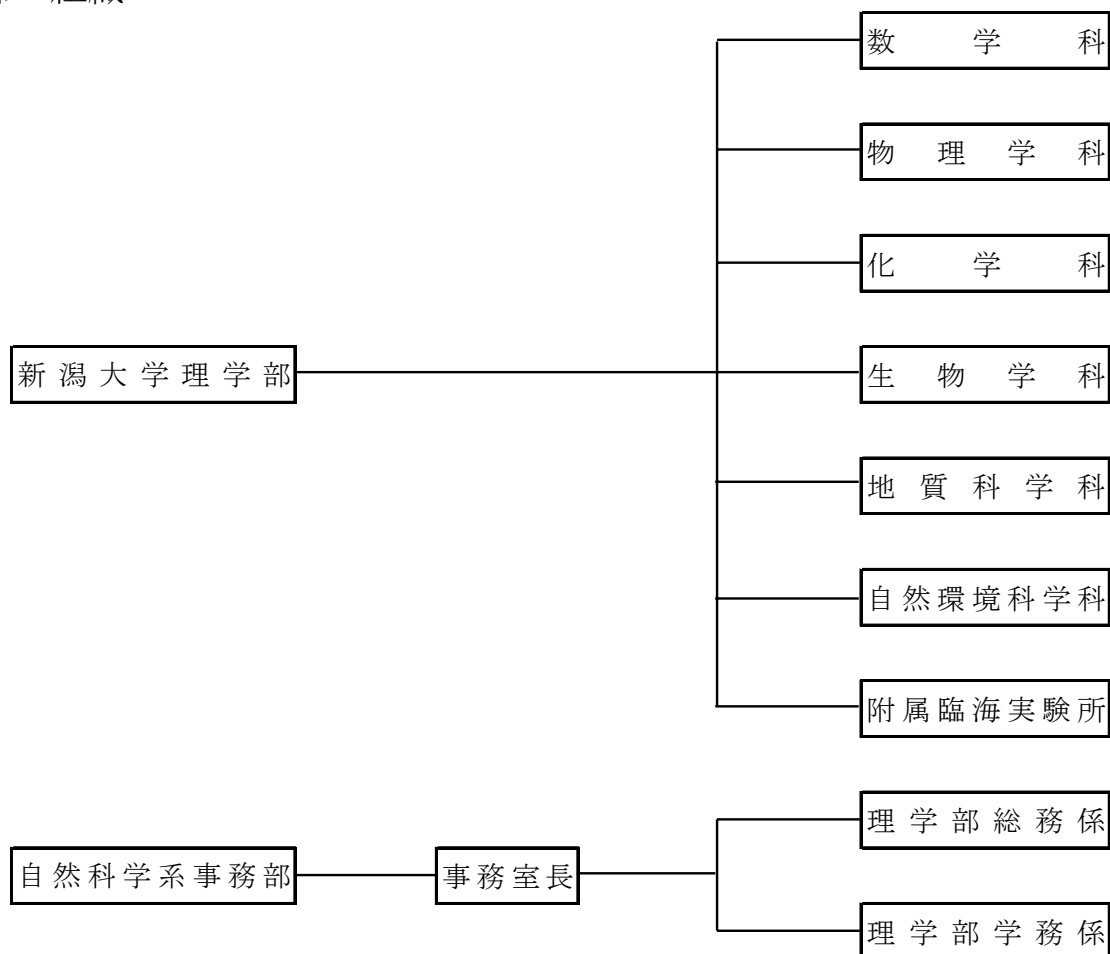
文部科学省令で定める大学において修得すべき博物館に関する科目の単位と、本学で開講される科目との関係は、次のとおりです。

文部科学省令の科目・単位数		左記に対応する 授業科目・単位数		履修 単位数	標準 履修 年次	備考 (開設 学部)
科目名	単位数	授業科目名	単位数			
生涯学習概論	2	生涯学習概論Ⅰ	2	2	2年	教育学部
		生涯学習概論Ⅱ	2			教育学部
		生涯学習概論Ⅲ	2			教育学部
博物館概論	2	博物館概論	2	2	2年	人文学部
博物館経営論	2	博物館経営論	2	2	3年	人文学部
博物館資料論	2	博物館資料論	2	2	3年	人文学部
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	2	3年	人文学部
博物館展示論	2	博物館展示論	2	2	3年	人文学部
博物館教育論	2	博物館教育論	2	2	2年	人文学部
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	2	2年	人文学部
博物館実習	3	博物館実習	3	3	4年	人文学部
合 計	19	合 計		19		

【備考】

- ①上記必修科目のほかに、人文学部で開設されている次の授業科目を修得することが望ましい。
ミュージアム論，考古学概説A・B，民俗学概説A・B，古文書学概説A・B，美術史概説A・B
- ②上記必修科目（博物館実習を除く8科目）は、博物館実習を4年次に履修することから、必ず3年次までに修得のこと。
- ③博物館実習についてのガイダンスを、3年次の10月頃及び12月上旬頃に行います（掲示にて通知）。学芸員資格取得希望者は必ず出席してください。

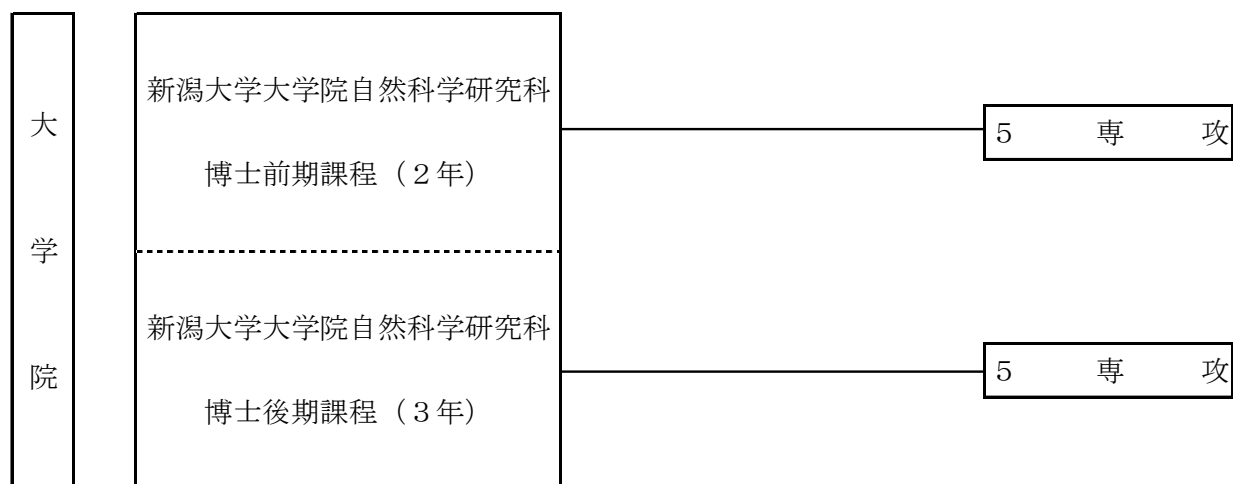
7. 理学部の組織



8. 大学院の組織

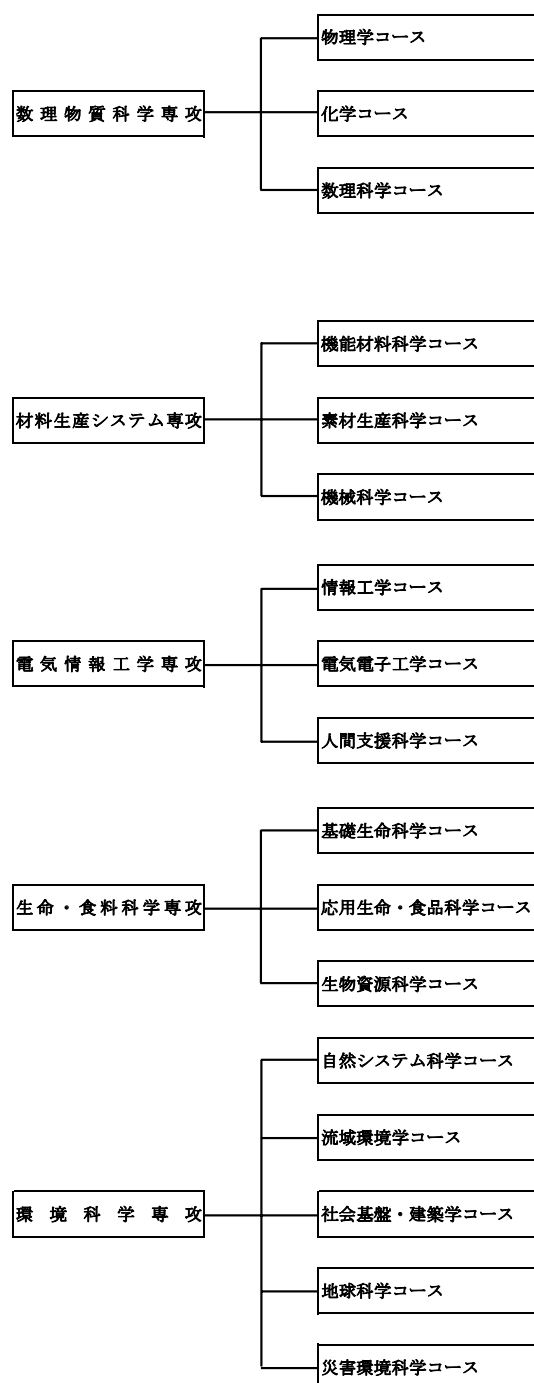
新潟大学では、平成7年度から従来の自然科学研究科博士後期課程の下に、大学院理学研究科、工学研究科及び農学研究科を統合して「自然科学研究科博士前期課程」を設置しました。

この改組により、新しい枠組みで教育研究分野を体系化し、自然科学系学問分野の総合化・学際化に応じられるよう各専攻に横断性を持たせると同時に、博士前期課程と博士後期課程における教育研究のより一層の連続性・継続性が図れるようになりました。

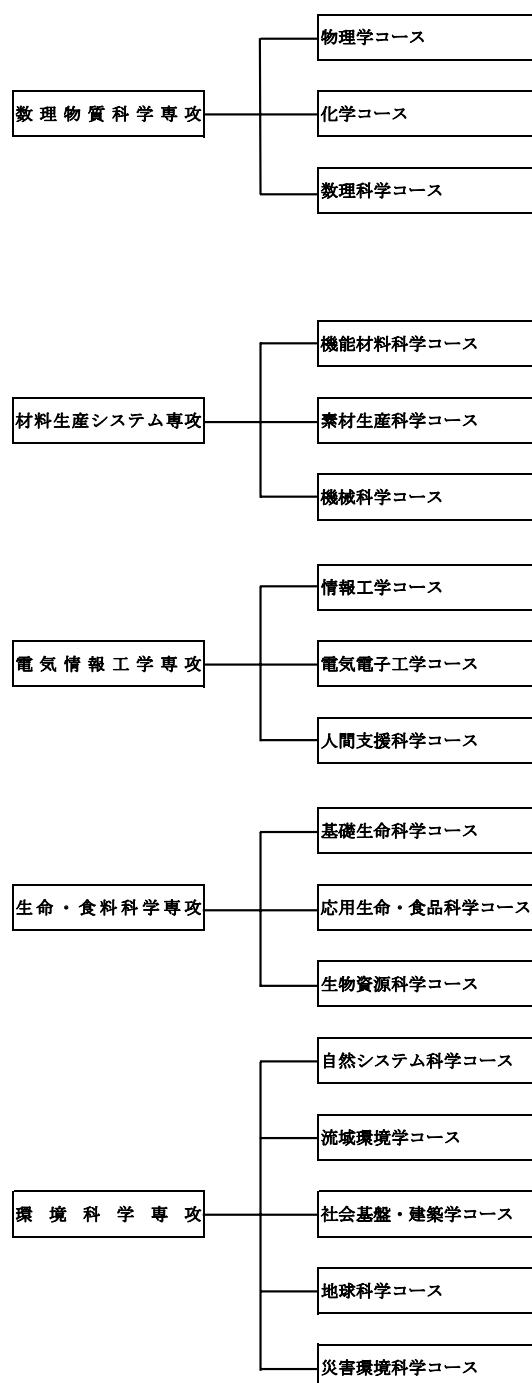


9. 自然科学研究科の構成

(1) 博士前期課程



(2) 博士後期課程



10. 教授会

新潟大学の全体組織については「学生便覧」等に示してありますが、その構成の一つとして本学部には「教授会」が置かれ、学部の管理、運営に関する事項等を審議し、方針を決定する機関となっています。

特に、学生諸君に直接関わりの深い問題については、次の委員会が扱います。

1 学務委員会

- 事項 ① カリキュラム、時間割、試験の実施
② 教育実習・教員職員免許の関係
③ 学生の身分異動の関係
④ 特別講義
⑤ 奨学生の推薦
⑥ 課外活動及び福利厚生
⑦ 自治会・学生相談
⑧ その他学務関係全般

2 就職・進路指導委員会

- 事項 就職及び進学等の進路指導に関する事項

3 判定委員会

- 事項 学生の入学及び卒業に関する事項

11. 事務

本学部の事務を処理するために自然科学研究科学務係と理学部学務係があります。

特に、学生生活を送る上で日常的に関わりの深い理学部学務係は、学務委員会等と密接な連携のもとに諸般の事務処理にあたっています。

理学部学務係の事務分掌

- (1) 教育課程の編成及び授業の実施に関すること。
- (2) 学生の募集及び入学試験に関すること。
- (3) 入学・卒業、その他学生の学籍に関すること。
- (4) 学生の修学等を支援するために必要な助言・指導、その他の援助に関すること。
- (5) 学位に関すること。
- (6) 学籍その他の記録に関すること。
- (7) 外国人留学生に関すること。
- (8) 教育実習及び教員職員免許に関すること。
- (9) 課外活動及び福利厚生に関すること。
- (10) 就職及び卒業後の進路に関すること。
- (11) 諸証明に関すること。
- (12) 所掌事務の調査及び統計に関すること。
- (13) その他学務関係事務に関すること。

学業及び学生生活を送る上で様々な問題が生じた時は、遠慮なく各学科の委員や担当係に積極的に相談されるよう希望します。

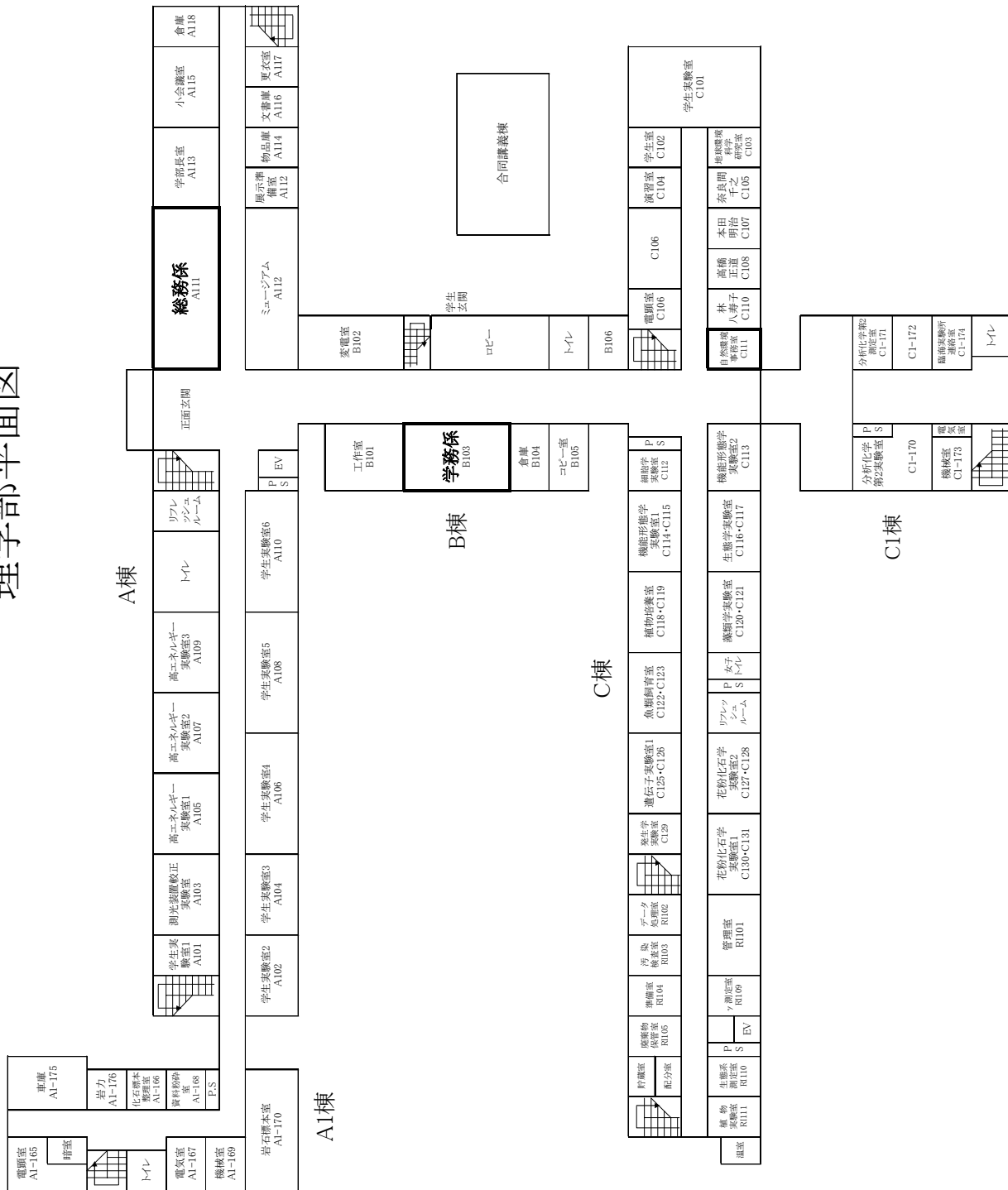
12. 理学部教職員一覧

H25.4.1現在

	分野等	氏名	カナ	職名	研究室		分野等	氏名	カナ	職名	研究室		
数学科	数理解析学分野	斎藤 吉助	サイウ キチスケ	教授	理学部A棟 512	生物学科	分子細胞科学分野	内海 利男	ウチミ トシオ	教授	生命環境棟 703-4		
		三浦 毅	ミウラ タケシ	教授	理学部A棟 503			長束 俊治	ナツカ シュンジ	教授	生命環境棟 305-1		
		鈴木 有祐	スズキ ユウスケ	准教授	理学部A棟 505			加藤 朗	カノウ アキラ	准教授	理学部C棟 215		
	構造数理科学分野	羽鳥 理	ハリ オサム	教授	情報理工棟 505			伊東 孝祐	イトウ コウスケ	助教	生命環境棟 705		
		小島 秀雄	コジマ ヒデアオ	教授	情報理工棟 404		生体制御学分野	和田 清俊	ワダ ケイシ	教授	理学部C棟 219		
	情報数理科学分野	印南 信宏	インナミノ ヒロ	教授	理学部A棟 508			西川 周一	ニシカワ シュウイチ	教授	理学部C棟 224		
		竹内 照雄	タケウチ テルオ	教授	理学部A棟 506			岩崎 俊介	イワサキ トシスケ	准教授	理学部C棟 217		
		渡邊 恵一	ワタナベ ケイイチ	准教授	理学部A棟 501			井筒 ゆみ	イツツ ユミ	准教授	生命環境棟 303-1		
		蛭川 潤一	ヒルカワ ジュンイチ	准教授	情報理工棟 506			藤間 真紀	トウマ マキ	助教	生命環境棟 306-4		
	自然科学研究科数理物質科学専攻	田中 環	タナカ タマキ	教授	情報理工棟 509		自然科学研究科生命・食料科学専攻	前野 貢	マエノ ミツグ	教授	生命環境棟 303-1		
山田 修司		ヤマダ シュウジ	准教授	情報理工棟 405	杉本 健吉	スギモト ケンキチ		准教授	生命環境棟 306-1				
星 明考		ホシ アキナリ	准教授	理学部A棟 509									
	應和 宏樹	オウワ ヒロキ	助教	理学部A棟 511		酒井 達也	サカイ タツヤ	准教授	生命環境棟 703-1				
	数学科事務室			理学部A棟 516		生物学科事務室			理学部C棟 208				
物理学科	粒子・宇宙物理科学分野	谷本 盛光	タニモト モリツ	教授	理学部A棟 208	地質科学科	岩石・鉱物学分野	サティッシュマル マドスーダン	教授	理学部A棟 412			
		宮田 等	ミヤタ ヒトシ	教授	理学部A棟 206			高澤 栄一	タカザワ エイチ	准教授	理学部A棟 415		
		松尾 正之	マツオ マサユキ	教授	理学部A棟 212								
		小池 裕司	コイケ ユウジ	教授	理学部A棟 214		構造地質学分野	豊島 剛志	トヨシマ ツヨシ	教授	生命環境棟 106-2		
		中野 博章	ナカノ ヒロアキ	准教授	理学部A棟 201			小林 健太	コバヤシ ケンタ	講師	生命環境棟 106-1		
		川崎 健夫	カワサキ タケオ	准教授	理学部A棟 204			松岡 篤	マツオカ アツシ	教授	生命環境棟 406-2		
		浅賀 岳彦	アサカ タケヒコ	准教授	理学部A棟 210		堆積・古生物学分野	新川 公	ニイカワ イサオ	准教授	理学部A棟 414		
		大坪 隆	オオツボ タカシ	准教授	物質生産棟 563			栗田 裕司	クリタ ヒロシ	准教授	生命環境棟 406-1		
		渡辺 一也	ワタナベ カズヤ	助教	理学部A棟 209		自然科学研究科環境科学専攻	小西 博巳	コニシ ヒロミ	教授	理学部A棟 404		
		山田 裕	ヤマダ ユウ	教授	物質生産棟 701			栗原 敏之	クリハラ トシユキ	准教授	理学部A棟 410		
	物性科学分野	大野 義章	オノノシアキ	教授	物質生産棟 702								
		摂持 力生	セツタイ リキオ	教授	物質生産棟 712								
		柳瀬 陽一	ヤナセ ヨウイチ	准教授	物質生産棟 704-2		地質科学科事務室		理学部A棟 406				
		奥西 巧一	オクニシ コウイチ	准教授	物質生産棟 704-1	自然環境科学科	地球環境科学分野	浮田 甚郎	ウケタ シンロウ	教授	理学部A棟 420		
		石川 文洋	イシカワ フミヒロ	准教授	物質生産棟 705			久保田 喜裕	クボタ ヨシヒロ	准教授	理学部A棟 427		
		廣瀬 雄介	ヒロセ ユウスケ	助教	物質生産棟 712			副島 浩一	ソエジマ コウイチ	准教授	物質生産棟 651		
		自然科学研究科数理物質科学専攻	大原 謙一	オハラ ケンイチ	教授			理学部A棟 215	彦坂 泰正	ヒコサカ ヤスマサ	准教授	物質生産棟 651	
			西 亮一	ニシ リョウイチ	准教授			理学部A棟 217	本田 明治	ホンダ アキハル	准教授	理学部C棟 107	
	根本 祐一		ネモト ユウイチ	准教授	物質生産棟 710			奈良間 千之	ナラマ チユキ	准教授	理学部C棟 105		
	金 鋼		キン コウ	准教授	物質生産棟 752-1		濱口 哲	ハマグチ サトシ	教授	理学部A棟 313			
化学科	物理・量子化学分野	遊佐 洋右	ユサ ヨウスケ	助教	理学部A棟 203		環境生物学分野	高橋 正道	タカハシ マサミチ	教授	理学部C棟 108		
		吉田 賢市	ヨシダ ケンイチ	助教	理学部A棟 207			酒泉 満	サカイミミツル	教授	理学部A棟 313		
		江尻 信司	エシ リンシ	准教授	理学部A棟 205			林 八寿子	ハヤシ ヤスコ	准教授	理学部C棟 110		
		物理学科事務室			理学部A棟 220	上井 進也		ウワイ シンヤ	准教授	理学部C1棟 384			
化学科	物理・量子化学分野	大鳥 範和	オトリ ノリカズ	教授	情報理工棟 306	研究推進機構超域学術院	物質循環科学分野	松岡 史郎	マツオカ シロウ	教授	理学部C1棟 385		
		生駒 忠昭	イコマ タダアキ	教授	物質生産棟 602			湯川 靖彦	ユカワ ヤスヒコ	教授	理学部C1棟 388		
		三浦 智明	ミウラ トモアキ	助教	物質生産棟 609			臼井 聡	ウスイ サトシ	准教授	理学部C1棟 389		
		丸山 健二	マルヤマ ケンシ	准教授	情報理工棟 309			則末 和宏	ノリスエ カズヒロ	准教授	理学部A棟 417		
	無機・分析化学分野	工藤 久昭	クドウ ヒサアキ	教授	理学部C棟 320		自然科学研究科環境科学専攻	石崎 智美	イシザキ サミ	助教	理学部C1棟 274		
		佐藤 敬一	サトウ ケイイチ	准教授	物質生産棟 709-1								
		長谷川 英悦	ハセガワ エイエツ	教授	物質生産棟 555								
		俣野 善博	マタノ ヨシヒロ	教授	物質生産棟 603				自然環境科学科事務室		理学部C棟 111		
	有機・生化学分野	古川 和広	フルカワ カズヒロ	教授	理学部C棟 228		附属臨海実験所	野崎 眞澄	ノザキ マスミ	教授			
		田山 英治	タヤマ エイジ	准教授	物質生産棟 616			安東 宏徳	アンドウ ヒロリ	准教授			
		梅林 泰宏	ウメバヤシ ヤスヒロ	教授	物質生産棟 605			安房田 智司	アワタ サトシ	助教			
		自然科学研究科数理物質科学専攻	岩本 啓	イワモト ハジメ	准教授			物質生産棟 601	自然科学研究科附属教育研究高度化センター	宮下 孝洋	ミヤシタ タカヒロ	教授	自然科学研究科管理・共通棟
			後藤 真一	ゴトウ シンイチ	准教授			理学部C棟 322		中山 敦子	ナカヤマ アツコ	准教授	物質生産棟 707
			大江 一弘	オオエ カズヒロ	助教			理学部C棟 328		大村 彩子	オオムラ アヤコ	助教	理学部A棟 202
	化学科事務室			理学部C棟 313		研究推進機構超域学術院	三好 智博	ミヨシ トモヒロ	助教	生命環境棟 703-4			
							足立 佳子	アダチ ヨシコ	助教	自然研管理棟 A410			
						機器分析センター	古川 貢	フルカワ コウ	准教授	物質生産棟 204			

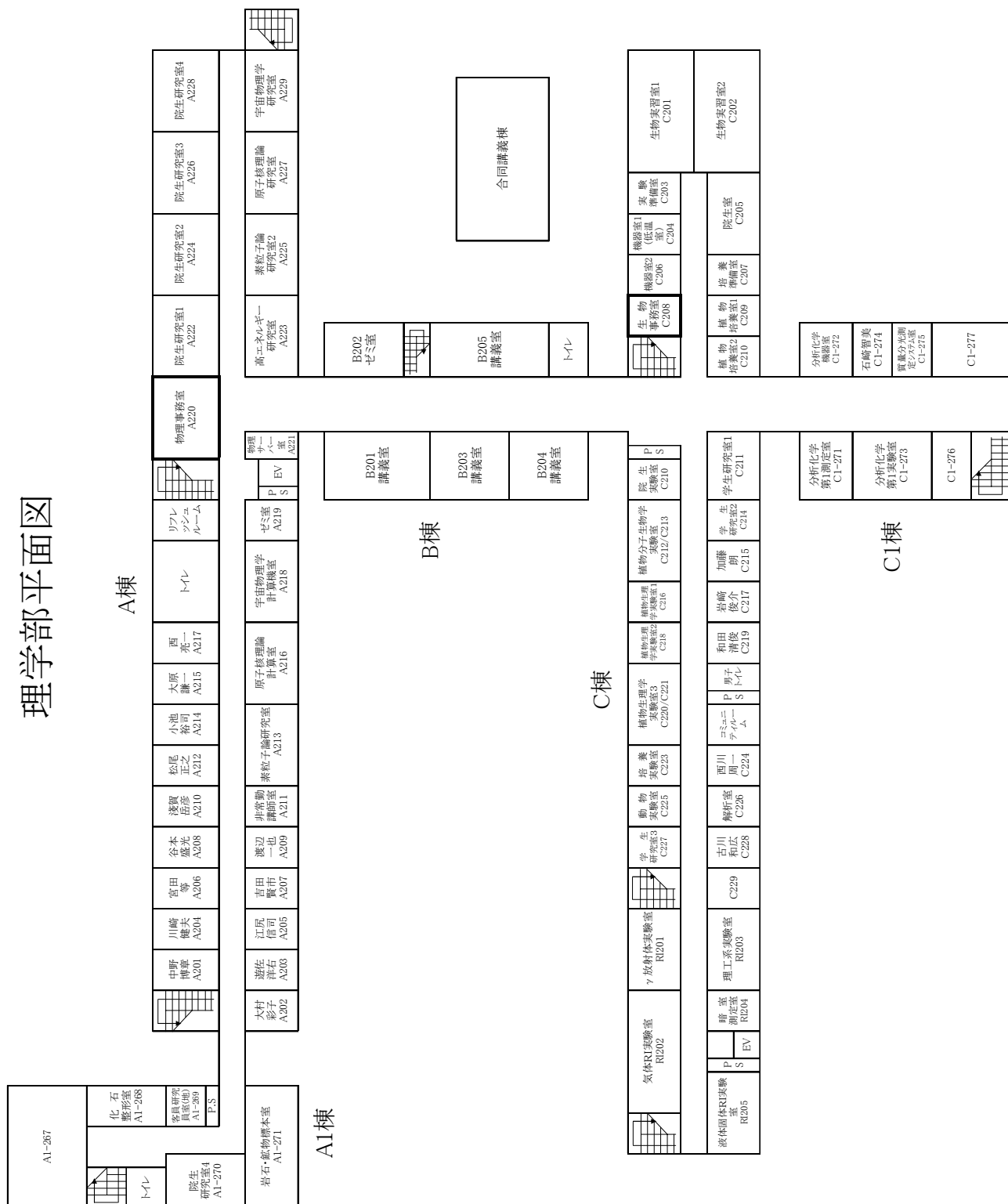
理学部平面図

1 階



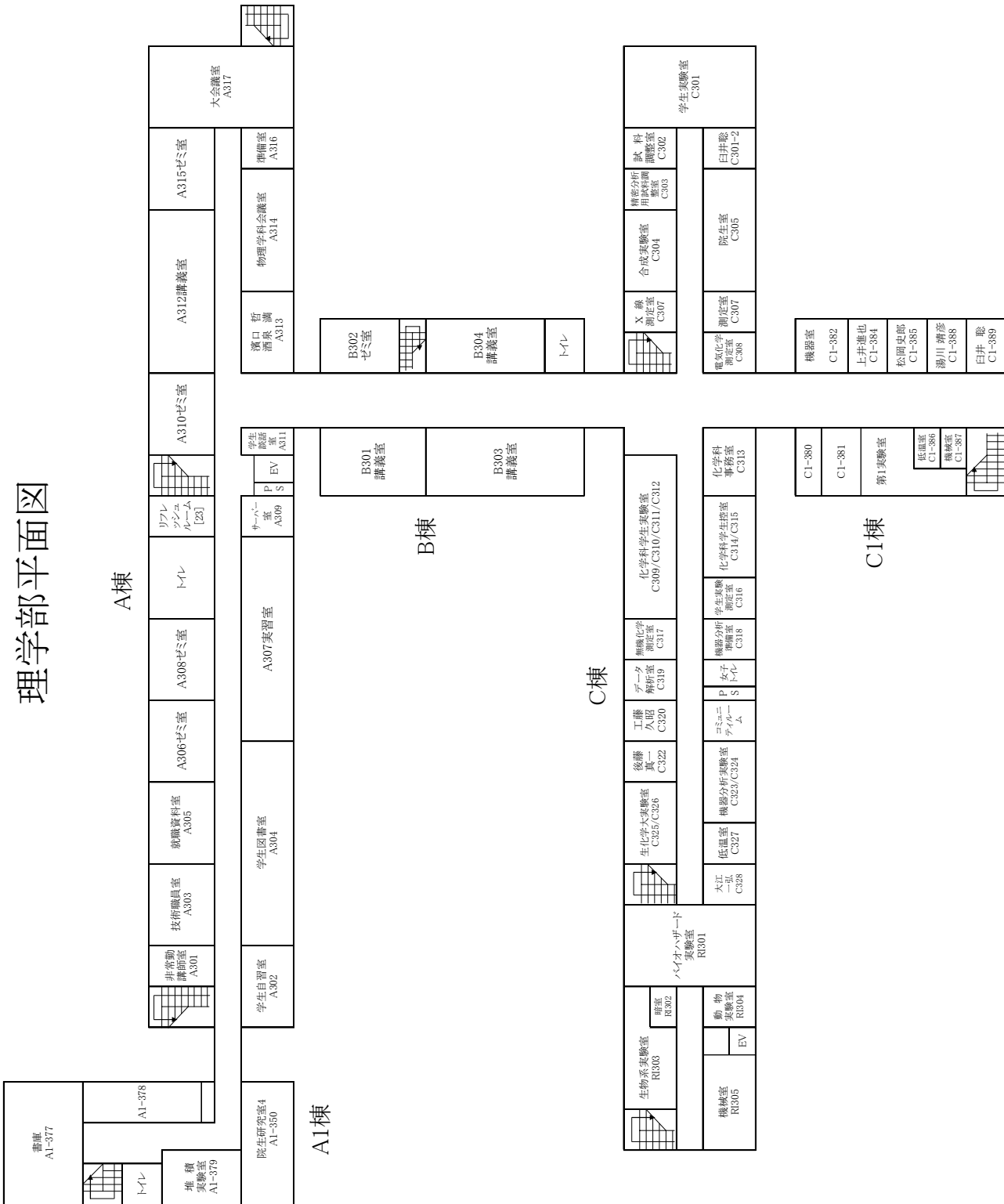
图面平部字理

2階



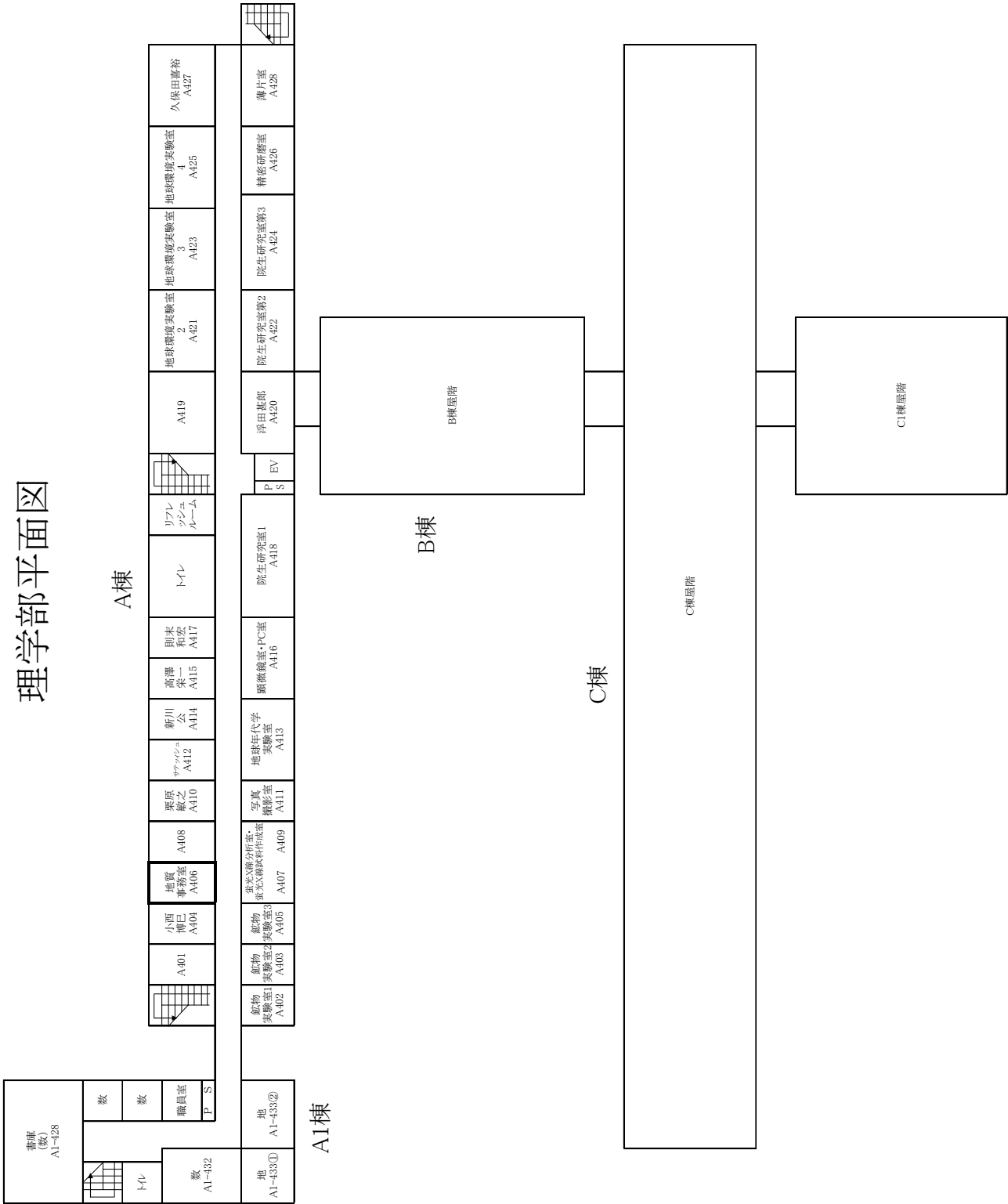
理学部平面図

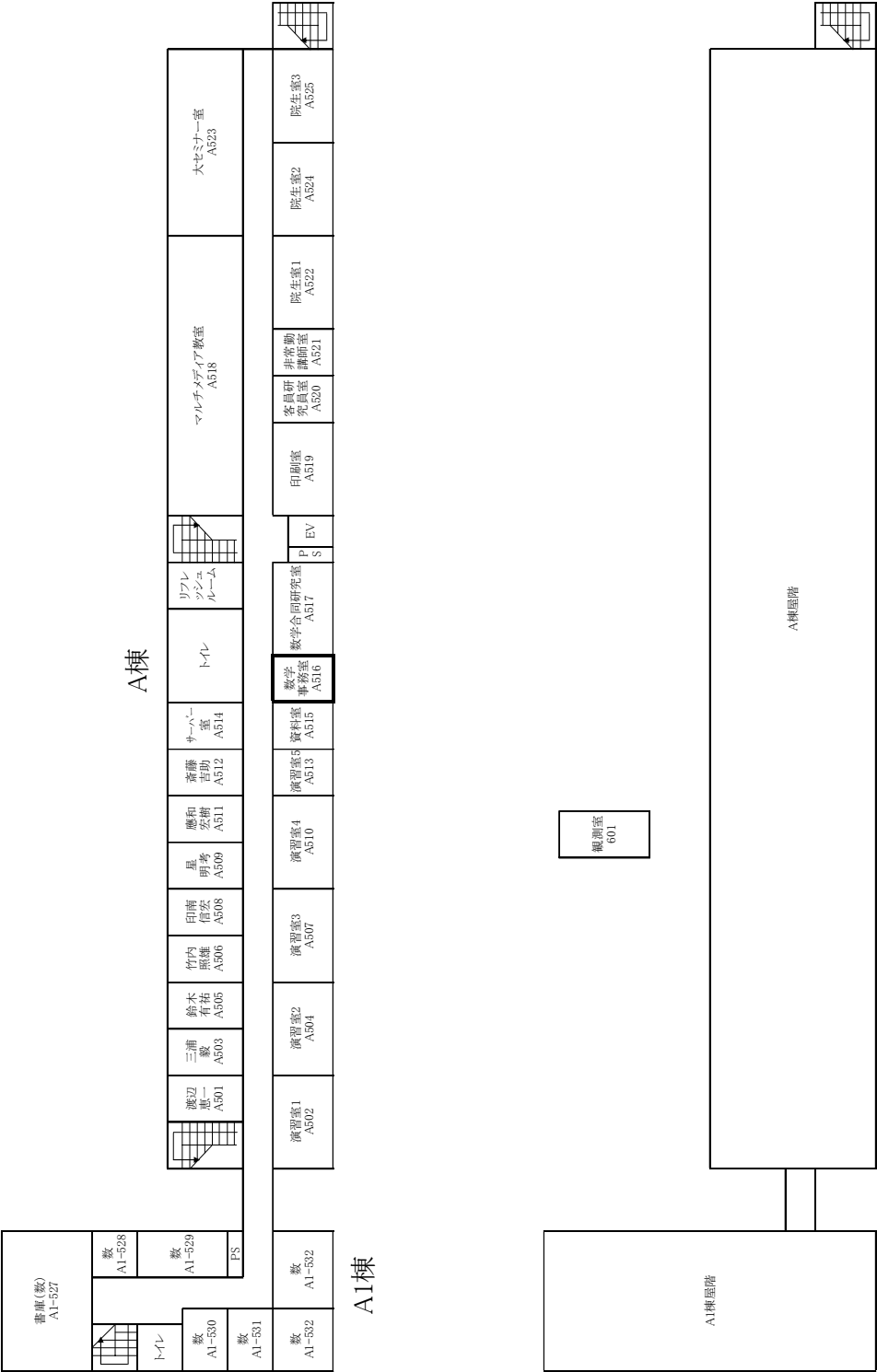
3階



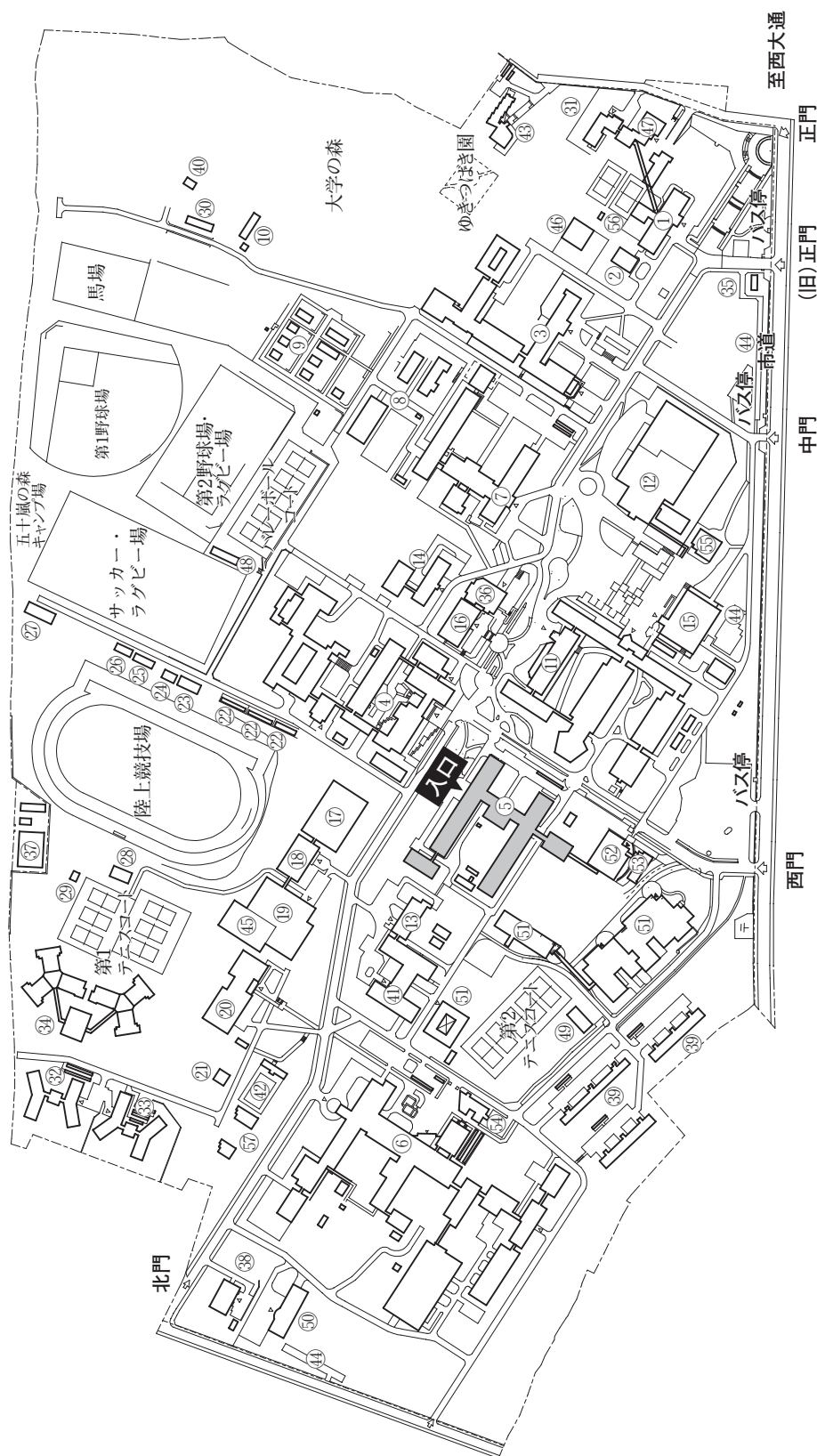
理学部平面図

4 階





14. 新潟大学理学部周辺案内図



①	事務局(学務部を除く)	⑤	理学部	14	情報基盤センター	22	第1部室	31	有明会館	40	堆肥舎	48	第4器具庫・更衣室	55	LAWSON, INIGATA UNIVERSITY
②	保健管理センター	⑥	工学部	15	第1学生食堂・中土庫棟5F	23	体育管理施設更衣室	32	学生宿舎(五ノ福舎A棟)	41	大学自然科學研究所	49	第5器具庫・更衣室	56	男女共用参画推進室
③	人文社会科学系棟	⑦	工学部教育センター	16	第2学生食堂	24	第1器具庫	33	学生宿舎(五ノ福舎B棟)	42	大大学院技術教育研究所	50	産学地域連携推進センター	57	全学同窓会
④	法学部	⑧	キャリアセンター	17	第1学生食堂	25	第2器具庫	34	学生宿舎(五ノ福舎C棟)	43	自然科學系事務部	51	総合研究棟		第2部室
⑤	農学部	⑨	キャリアセンター	18	第2学生食堂	26	自動車部品車庫	35	守衛センター	44	国際交流会館	52	産学地域人育成育成センター		第3部室
⑥	農学部実習棟	⑩	国際センター	19	武蔵道場	27	自動車部品車庫	36	守衛センター	45	第三体育館	53	産学地域連携推進センター		第4部室
⑦	農学部実習棟	⑪	国際センター	20	武蔵道場	28	自動車部品車庫	37	汚水処理施設	46	第三体育館	54	産学地域連携推進センター		第5部室
⑧	農学部実習棟	⑫	国際センター	21	武蔵道場	29	自動車部品車庫	38	環境安全推進室	47	第三体育館	55	産学地域連携推進センター		第6部室
⑨	農学部実習棟	⑬	国際センター	22	武蔵道場	30	自動車部品車庫	39	環境安全推進室	48	第三体育館	56	産学地域連携推進センター		第7部室
⑩	農学部実習棟	⑭	国際センター	23	武蔵道場	31	自動車部品車庫	40	環境安全推進室	49	第三体育館	57	産学地域連携推進センター		第8部室
⑪	農学部実習棟	⑮	国際センター	24	武蔵道場	32	自動車部品車庫	41	環境安全推進室	50	第三体育館	58	産学地域連携推進センター		第9部室
⑫	農学部実習棟	⑯	国際センター	25	武蔵道場	33	自動車部品車庫	42	環境安全推進室	51	第三体育館	59	産学地域連携推進センター		第10部室
⑬	農学部実習棟	⑰	国際センター	26	武蔵道場	34	自動車部品車庫	43	環境安全推進室	52	第三体育館	60	産学地域連携推進センター		第11部室
⑭	農学部実習棟	⑱	国際センター	27	武蔵道場	35	自動車部品車庫	44	環境安全推進室	53	第三体育館	61	産学地域連携推進センター		第12部室
⑮	農学部実習棟	⑲	国際センター	28	武蔵道場	36	自動車部品車庫	45	環境安全推進室	54	第三体育館	62	産学地域連携推進センター		第13部室
⑯	農学部実習棟	⑳	国際センター	29	武蔵道場	37	自動車部品車庫	46	環境安全推進室	55	第三体育館	63	産学地域連携推進センター		第14部室
㉑	農学部実習棟	㉑	国際センター	30	武蔵道場	38	自動車部品車庫	47	環境安全推進室	56	第三体育館	64	産学地域連携推進センター		第15部室
㉒	農学部実習棟	㉒	国際センター	31	武蔵道場	39	自動車部品車庫	48	環境安全推進室	57	第三体育館	65	産学地域連携推進センター		第16部室
㉓	農学部実習棟	㉓	国際センター	32	武蔵道場	40	自動車部品車庫	49	環境安全推進室	58	第三体育館	66	産学地域連携推進センター		第17部室
㉔	農学部実習棟	㉔	国際センター	33	武蔵道場	41	自動車部品車庫	50	環境安全推進室	59	第三体育館	67	産学地域連携推進センター		第18部室
㉕	農学部実習棟	㉕	国際センター	34	武蔵道場	42	自動車部品車庫	51	環境安全推進室	60	第三体育館	68	産学地域連携推進センター		第19部室
㉖	農学部実習棟	㉖	国際センター	35	武蔵道場	43	自動車部品車庫	52	環境安全推進室	61	第三体育館	69	産学地域連携推進センター		第20部室
㉗	農学部実習棟	㉗	国際センター	36	武蔵道場	44	自動車部品車庫	53	環境安全推進室	62	第三体育館	70	産学地域連携推進センター		第21部室
㉘	農学部実習棟	㉘	国際センター	37	武蔵道場	45	自動車部品車庫	54	環境安全推進室	63	第三体育館	71	産学地域連携推進センター		第22部室
㉙	農学部実習棟	㉙	国際センター	38	武蔵道場	46	自動車部品車庫	55	環境安全推進室	64	第三体育館	72	産学地域連携推進センター		第23部室
㉚	農学部実習棟	㉚	国際センター	39	武蔵道場	47	自動車部品車庫	56	環境安全推進室	65	第三体育館	73	産学地域連携推進センター		第24部室
㉛	農学部実習棟	㉛	国際センター	40	武蔵道場	48	自動車部品車庫	57	環境安全推進室	66	第三体育館	74	産学地域連携推進センター		第25部室
㉜	農学部実習棟	㉜	国際センター	41	武蔵道場	49	自動車部品車庫	58	環境安全推進室	67	第三体育館	75	産学地域連携推進センター		第26部室
㉝	農学部実習棟	㉝	国際センター	42	武蔵道場	50	自動車部品車庫	59	環境安全推進室	68	第三体育館	76	産学地域連携推進センター		第27部室
㉞	農学部実習棟	㉞	国際センター	43	武蔵道場	51	自動車部品車庫	60	環境安全推進室	69	第三体育館	77	産学地域連携推進センター		第28部室
㉟	農学部実習棟	㉟	国際センター	44	武蔵道場	52	自動車部品車庫	61	環境安全推進室	70	第三体育館	78	産学地域連携推進センター		第29部室
㊱	農学部実習棟	㊱	国際センター	45	武蔵道場	53	自動車部品車庫	62	環境安全推進室	71	第三体育館	79	産学地域連携推進センター		第30部室
㊲	農学部実習棟	㊲	国際センター	46	武蔵道場	54	自動車部品車庫	63	環境安全推進室	72	第三体育館	80	産学地域連携推進センター		第31部室
㊳	農学部実習棟	㊳	国際センター	47	武蔵道場	55	自動車部品車庫	64	環境安全推進室	73	第三体育館	81	産学地域連携推進センター		第32部室
㊴	農学部実習棟	㊴	国際センター	48	武蔵道場	56	自動車部品車庫	65	環境安全推進室	74	第三体育館	82	産学地域連携推進センター		第33部室
㊵	農学部実習棟	㊵	国際センター	49	武蔵道場	57	自動車部品車庫	66	環境安全推進室	75	第三体育館	83	産学地域連携推進センター		第34部室
㊶	農学部実習棟	㊶	国際センター	50	武蔵道場	58	自動車部品車庫	67	環境安全推進室	76	第三体育館	84	産学地域連携推進センター		第35部室
㊷	農学部実習棟	㊷	国際センター	51	武蔵道場	59	自動車部品車庫	68	環境安全推進室	77	第三体育館	85	産学地域連携推進センター		第36部室
㊸	農学部実習棟	㊸	国際センター	52	武蔵道場	60	自動車部品車庫	69	環境安全推進室	78	第三体育館	86	産学地域連携推進センター		第37部室
㊹	農学部実習棟	㊹	国際センター	53	武蔵道場	61	自動車部品車庫	70	環境安全推進室	79	第三体育館	87	産学地域連携推進センター		第38部室
㊺	農学部実習棟	㊺	国際センター	54	武蔵道場	62	自動車部品車庫	71	環境安全推進室	80	第三体育館	88	産学地域連携推進センター		第39部室
㊻	農学部実習棟	㊻	国際センター	55	武蔵道場	63	自動車部品車庫	72	環境安全推進室	81	第三体育館	89	産学地域連携推進センター		第40部室
㊼	農学部実習棟	㊼	国際センター	56	武蔵道場	64	自動車部品車庫	73	環境安全推進室	82	第三体育館	90	産学地域連携推進センター		第41部室
㊽	農学部実習棟	㊽	国際センター	57	武蔵道場	65	自動車部品車庫	74	環境安全推進室	83	第三体育館	91	産学地域連携推進センター		第42部室
㊾	農学部実習棟	㊾	国際センター	58	武蔵道場	66	自動車部品車庫	75	環境安全推進室	84	第三体育館	92	産学地域連携推進センター		第43部室
㊿	農学部実習棟	㊿	国際センター	59	武蔵道場	67	自動車部品車庫	76	環境安全推進室	85	第三体育館	93	産学地域連携推進センター		第44部室
1	農学部実習棟	1	国際センター	60	武蔵道場	68	自動車部品車庫	77	環境安全推進室	86	第三体育館	94	産学地域連携推進センター		第45部室
2	農学部実習棟	2	国際センター	61	武蔵道場	69	自動車部品車庫	78	環境安全推進室	87	第三体育館	95	産学地域連携推進センター		第46部室
3	農学部実習棟	3	国際センター	62	武蔵道場	70	自動車部品車庫	79	環境安全推進室	88	第三体育館	96	産学地域連携推進センター		第47部室
4	農学部実習棟	4	国際センター	63	武蔵道場	71	自動車部品車庫	80	環境安全推進室	89	第三体育館	97	産学地域連携推進センター		第48部室
5	農学部実習棟	5	国際センター	64	武蔵道場	72	自動車部品車庫	81	環境安全推進室	90	第三体育館	98	産学地域連携推進センター		第49部室
6	農学部実習棟	6	国際センター	65	武蔵道場	73	自動車部品車庫	82	環境安全推進室	91	第三体育館	99	産学地域連携推進センター		第50部室
7	農学部実習棟	7	国際センター	66	武蔵道場	74	自動車部品車庫	83	環境安全推進室	92	第三体育館	100	産学地域連携推進センター		第51部室
8	農学部実習棟	8	国際センター	67	武蔵道場	75	自動車部品車庫	84	環境安全推進室	93	第三体育館	101	産学地域連携推進センター		第52部室
9	農学部実習棟	9	国際センター	68	武蔵道場	76	自動車部品車庫	85	環境安全推進室	94	第三体育館	102	産学地域連携推進センター		第53部室
10	農学部実習棟	10	国際センター	69	武蔵道場	77	自動車部品車庫	86	環境安全推進室	95	第三体育館	103	産学地域連携推進センター		第54部室
11	農学部実習棟	11	国際センター	70	武蔵道場	78	自動車部品車庫	87	環境安全推進室	96	第三体育館	104	産学地域連携推進センター		第55部室
12	農学部実習棟	12	国際センター	71	武蔵道場	79	自動車部品車庫	88	環境安全推進室	97	第三体育館	105	産学地域連携推進センター		第56部室
13	農学部実習棟	13	国際センター	72	武蔵道場	80	自動車部品車庫	89	環境安全推進室	98	第三体育館	106	産学地域連携推進センター		第57部室
14	農学部実習棟	14	国際センター	73	武蔵道場	81	自動車部品車庫	90	環境安全推進室	99	第三体育館	107	産学地域連携推進センター		第58部室
15	農学部実習棟	15	国際センター	74	武蔵道場	82	自動車部品車庫	91	環境安全推進室	100	第三体育館	108	産学地域連携推進センター		第59部室
16	農学部実習棟	16	国際センター	75	武蔵道場	83	自動車部品車庫	92	環境安全推進室	101	第三体育館	109	産学地域連携推進センター		第60部室
17	農学部実習棟	17	国際センター	76	武蔵道場	84	自動車部品車庫	93	環境安全推進室	102	第三体育館	110	産学地域連携推進センター		第61部室
18	農学部実習棟	18	国際センター	77	武蔵道場	85	自動車部品車庫	94	環境安全推進室	103	第三体育館	111	産学地域連携推進センター		第62部室
19	農学部実習棟	19	国際センター	78	武蔵道場	86	自動車部品車庫	95	環境安全推進室	104	第三体育館	112	産学地域連携推進センター		第63部室
20	農学部実習棟	20	国際センター	79	武蔵道場	87	自動車部品車庫	96	環境安全推進室	105	第三体育館	113	産学地域連携推進センター		第64部室
21	農学部実習棟	21	国際センター	80	武蔵道場	88	自動車部品車庫	97	環境安全推進室	106	第三体育館	114	産学地域連携推進センター		第65部室
22	農学部実習棟	22	国際センター	81	武蔵道場	89	自動車部品車庫	98	環境安全推進室	107	第三体育館	115	産学地域連携推進センター		第66部室
23	農学部実習棟	23	国際センター	82	武蔵道場	90	自動車部品車庫	99	環境安全推進室	108	第三体育館	116	産学地域連携推進センター		第67部室
24	農学部実習棟	24	国際センター	83	武蔵道場	91	自動車部品車庫	100	環境安全推進室	109	第三体育館	117	産学地域連携推進センター		第68部室
25	農学部実習棟	25	国際センター	84	武蔵道場	92	自動車部品車庫	101	環境安全推進室	110	第三体育館	118	産学地域連携推進センター		第69部室
26	農学部実習棟	26	国際センター	85	武蔵道場	93	自動車部品車庫	102	環境安全推進室	111	第三体育館	119	産学地域連携推進センター		第70部室
27	農学部実習棟	27	国際センター	86	武蔵道場	94	自動車部品車庫	103	環境安全推進室	112	第三体育館	120	産学地域連携推進センター		第71部室
28	農学部実習棟	28	国際センター	87	武蔵道場	95	自動車部品車庫	104	環境安全推進室	113	第三体育館	121	産学地域連携推進センター		第72部室
29	農学部実習棟	29	国際センター	88	武蔵道場	96	自動車部品車庫	105	環境安全推進室	114	第三体育館	122	産学地域連携推進センター		第73部室
30	農学部実習棟	30	国際センター	89	武蔵道場	97	自動車部品車庫	106	環境安全推進室	115	第三体育館	123	産学地域連携推進センター		第74部室
31	農学部実習棟	31	国際センター	90	武蔵道場	98	自動車部品車庫	107	環境安全推進室	116	第三体育館	124	産学地域連携推進センター		第75部室
32	農学部実習棟	32	国際センター	91	武蔵道場	99	自動車部品車庫	108	環境安全推進室	117	第三体育館	125	産学地域連携推進センター		第76部室
33	農学部実習棟	33	国際センター	92	武蔵道場	100	自動車部品車庫	109	環境安全推進室	118	第三体育館	126	産学地域連携推進センター		第77部室
34	農学部実習棟	34	国際センター	93	武蔵道場	101	自動車部品車庫	110	環境安全推進室	119	第三体育館	127	産学地域連携推進センター		第78部室
35	農学部実習棟	35	国際センター	94	武蔵道場	102	自動車部品車庫	111	環境安全推進室	120	第三体育館	128	産学地域連携推進センター		第79部室
36	農学部実習棟	36	国際センター	95	武蔵道場	103	自動車部品車庫	112	環境安全推進室	121	第三体育館	129	産学地域連携推進センター		第80部室
37	農学部実習棟	37	国際センター	96	武蔵道場	104	自動車部品車庫	113	環境安全推進室	122	第三体育館	130	産学地域連携推進センター		第81部室
38	農学部実習棟	38	国際センター	97	武蔵道場	105	自動車部品車庫	114	環境安全推進室	123	第三体育館	131	産学地域連携推進センター		第82部室
39	農学部実習棟	39	国際センター	98	武蔵道場	106	自動車部品車庫	115	環境安全推進室	124	第三体育館	132	産学地域連携推進センター		第83部室
40	農学部実習棟	40	国際センター	99	武蔵道場	107	自動車部品車庫	116	環境安全推進室	125	第三体育館	133	産学地域連携推進センター		第84部室
41	農学部実習棟	41	国際センター	100	武蔵道場	108	自動車部品車庫	117	環境安全推進室	126	第三体育館	134	産学地域連携推進センター		第85部室
42	農学部実習棟	42	国際センター	101	武蔵道場	109	自動車部品車庫	118	環境安全推進室	127	第三体育館	135	産学地域連携推進センター		第86部室
43	農学部実習棟	43	国際センター	102	武蔵道場	110	自動車部品車庫	119	環境安全推進室	128	第三体育館	136	産学地域連携推進センター		第87部室
44	農学部実習棟	44	国際センター	103	武蔵道場	111	自動車部品車庫	120	環境安全推進室	129	第三体育館	137	産学地域連携推進センター		第88部室
45	農学部実習棟	45	国際センター	104	武蔵道場	112	自動車部品車庫	121	環境安全推進室	130	第三体育館	138	産学地域連携推進センター		第89部室
46	農学部実習棟	46	国際センター	105	武蔵道場	113	自動車部品車庫	122	環境安全推進室	131	第三体育館	139	産学地域連携推進センター		第90部室
47	農学部実習棟	47	国際センター	106	武蔵道場	114	自動車部品車庫	123	環境安全推進室	132	第三体育館	140	産学地域連携推進センター		第91部室
48	農学部実習棟	48	国際センター	107	武蔵道場	115	自動車部品車庫	124	環境安全推進室	133	第三体育館				

リサイクル適性 (B)

この印刷物は、板紙へ
リサイクルできます。